

NYC-MICROSV2-LAN

■ 工事説明書 ■

技術基準適合認証品

お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

本書は、本製品の工事を行う技術者、保守を行う技術者が読むことを想定して記載しています。
本製品の工事、保守を行うためには情報通信ネットワークに関する知識が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

おねがい

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



禁止

してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- この装置は、日本国内用に設計されておりますので、海外では使用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品および本書の一部または全部の無断改変、無断転載、無断複写を禁止いたします。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など各国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
- 本書に記載の各会社名および各製品名等は、それぞれの会社の商標または登録商標です。なお、本文中には、™、®は明記しておりません。
- 本書の画面は、一例です。説明に関係ない部分については、実際とは多少異なる場合があります。
- 「NYC Reception」「ナイス レセプション」は、株式会社ナカヨの登録商標です。
- NYC Receptionのアイコンは、株式会社ナカヨの登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標であり、使用許諾契約の下で弊社にライセンスされています。

NAKAYO

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

F-6763-1



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

火災・感電などを防ぐために



禁止

■分解・修理・改造しない。

修理は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

■オプションのACアダプタ以外を使用しない。

■ぬれた手でACアダプタや電源プラグの抜き差しをしない。

■ACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルに水をかけたり、ぬらしたりしない。

ぬれた場合は、ACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜いて、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

■水がかかる恐れのある場所には設置しない。

本製品を雨水がかかる場所、ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。また、本製品のそばに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。

ぬれた場合は、ACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜いて、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。また、各種ケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

■直射日光の当たるところや、暖房設備などの著しく温度が上昇する場所に設置しない。

■調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しない。

■本製品を指定外の置き方や重ね置きにしない。

■本製品の通風孔をふさがない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような設置のしかたはしないでください。

・じゅうたんや布団の上に置く。

・テーブルクロスなどをかける。

・収納棚、本棚、タンスの中・押し入れの中など風通しの悪い狭い場所に置く。

■雷が鳴ったら、本製品やACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルに触れない。

■機器内部に金属物や燃えやすい物などの異物を入れない。

金属物や異物が入った場合は、すぐにACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜いて、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

■コネクタを金属物でショートさせない。

■各種ケーブル・電源プラグを破損するようなことをしない。

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねるなど、傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。修理は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外で使用しない。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■本製品を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などの近くに置いたりしない。

■本製品を落としたりするなどの衝撃を与えない。

万一、本製品を破損した場合は、すぐにACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜き、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へ、ご相談ください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

火災・感電などを防ぐために



- **ACアダプタや電源プラグは、根元まで確実に差し込む。**
ACアダプタの刃に金属などが触れたり、差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだACアダプタや電源プラグは、使用しないでください。
- **ACアダプタや電源プラグのほこりなどは定期的にとる。**
電源プラグに、ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜き、乾いた布でふいてください。
- **発煙・臭気・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜く。**
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。使用を中止し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。
- **電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。**
ケーブルを持って抜くと、ケーブルの断線による火災・感電の原因になります。
- **工事配線の確認をする際、ACアダプタやPoE給電ハブ等の周辺機器をコンセントから抜く。**
感電・故障の原因となります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

事故・けが・財産の損害などを防ぐために



禁止

- **水平でない場所や振動の激しい場所で使用しない。**
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所で使用すると、バランスがくずれて倒れたり落下して、けが・破損・故障の原因となることがあります。
- **製氷倉庫など、特に温度が下がる場所には設置しない。**
性能低下、機能停止により重要な通信ができない恐れがあります。
- **壁掛け設置する場合は、ベニヤ板や石膏ボードには取り付けない。**
ねじのしまりが弱く、落下によるけが・破損・故障の原因となることがあります。
- **設置跡が気になる場所に設置しない。**
本製品の底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面がまれに変色する恐れがあります。



- **壁掛け設置する場合は、本製品の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置する。**
落下して、けが・破損・故障の原因となることがあります。
- **長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本製品のACアダプタ・電源プラグ・各種ケーブルを抜く。**
- **オプションのスタンドを間違えないように取り付ける。**
本製品のオプションのスタンド(NYC-STAND-MICROSV2)を使用する場合は、設置向きをよく確認して取り付けてください。

おねがい

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

設置環境について

- 硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、製品の寿命が短くなる場合があります。

設置後の扱いについて

- 本製品に接続した各種ケーブルを踏みつけたり、強い力で引っ張ったりしないでください。故障・誤動作の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本製品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本製品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、各種ケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本製品に水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴がついたまま使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本製品の動作中に接続ケーブルが外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。また、動作中は、接続ケーブルには触れないでください。
- 本製品を電源OFFにする際は、必ずWeb設定画面の「保守設定」→「再起動/電源OFF」から行ってください。動作中にACアダプタやLANケーブルを外すと故障の原因となることがあります。
- 本製品に各種ケーブルを接続する際、方向を確認して接続してください。無理やり接続しようとするとう故障の原因になる場合があります。

ソフトウェアライセンスについて

本製品にはオープンソースソフトウェア（「OSS」と表記）が含まれております。

これらOSSの使用条件の詳細につきましては、弊社のサービス・保守窓口またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ご利用上の注意 (必ずお読みください).....	1
目次.....	4
1章. ご利用の前に	6
●ご利用の前に.....	6
●主な特長.....	7
●主な特長 ~来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話をする場合~.....	8
●主な特長 ~来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合~.....	9
●主な特長 ~来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合~.....	10
●主な特長 ~来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合~.....	11
●主な仕様.....	12
●構成品.....	13
●外観/各部の説明.....	14
●MODE SWITCH の機能.....	15
●ランプ表示説明.....	16
2章. 設置準備	18
●設置工事の手順.....	18
●必要な物品の確認.....	19
●受付アプリケーションのインストール.....	21
●別売品(オプション機器).....	22
3章. 装置の配線と組立	24
●本製品の設置(平置き設置) ~来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話をする場合~.....	24
●本製品の設置(平置き設置) ~来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合~.....	26
●本製品の設置(平置き設置) ~来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合~.....	28
●本製品の設置(平置き設置) ~来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合~.....	30
●本製品の設置(縦置き設置).....	32
●本製品の設置(壁掛け設置).....	33
●本製品の設置(カバー取付方法).....	34
4章. 動作確認	35
●動作確認(来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話をする場合).....	35
●動作確認(来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合).....	37
●動作確認(来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合).....	40
●動作確認(来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合).....	42
●動作確認(接点制御機器).....	45
5章. 基本設定	47
●パソコンとの接続方法.....	47
●ログイン方法.....	48
●ネットワーク設定.....	50
●時刻設定.....	55
●ディスプレイ設定.....	58
●設定反映.....	60
6章. アプリケーション設定	62
●インストール.....	62
●アンインストール.....	65
7章. 情報表示	67
●状態表示.....	67
●ライセンス表示.....	68
8章. 保守設定	69
●アカウント設定.....	69
●インポート.....	72
●エクスポート.....	74
●ファームウェア更新.....	76
●初期化.....	82

目次

●再起動/電源 OFF	85
付録	88
●Web 画面設定一覧.....	88
●Web 画面エラーメッセージ一覧.....	89
●トラブルシューティング	93
●MODE SWITCH の機能詳細.....	96
●お手入れ(清掃の方法).....	98
●機器が故障した場合.....	99
●本製品の廃棄について.....	99

1章. ご利用の前に

●ご利用の前に

本書は、NYC-MICROSV2-LAN(「本製品」と表記)の設置工事について説明しています。

本製品は、アプリケーションをインストールすることで、様々な用途にあわせたシステムを構築することができます。

本製品を含めたシステム構築を行うためには、予め必要なアプリケーションのインストール(「6章. アプリケーション設定」参照)や設定(「5章.基本設定」参照)が必要です。「2章. 設置工事の手順」を参照し、手順をご確認ください。

NYC Reception APP MS(「受付アプリケーション」と表記)の取り扱いについては、「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。

本製品のサポート情報や説明書の最新版は、下記サポートサイトからご確認ください。

必ず最新版をダウンロードして、お読みください。

<https://www.hoshunet.jp/nyc/MicroServer2/>

ユーザー名 : microserver2id

パスワード : microserver2pass



各マニュアルで例示するWeb設定等のパソコン(※1)画面は一例です。

お使いの機種や設定により表示が異なります。

(※1)保守作業等に使用するパソコン(保守PC)の条件は、下記の通りです。

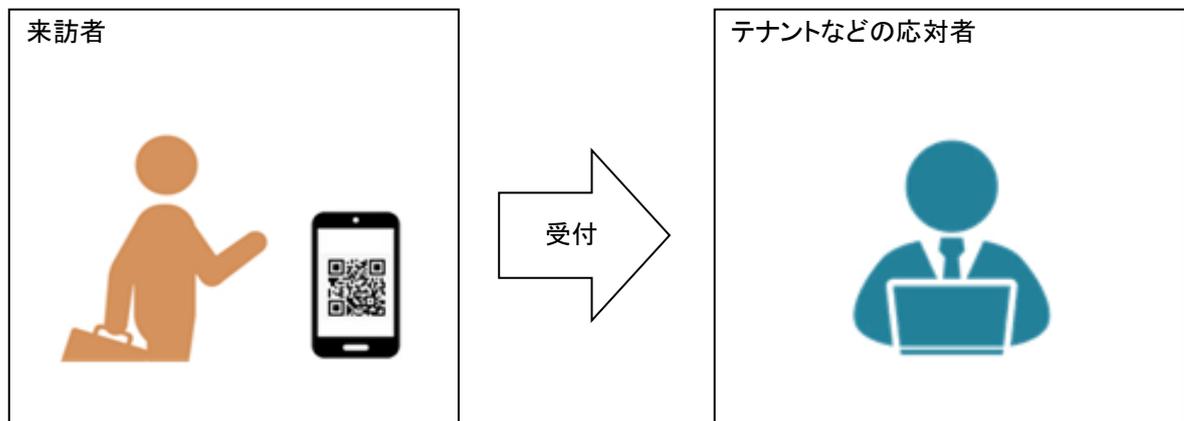
- ・使用するパソコンの条件 (LANカード/LANボード装着済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済であること)
OS: Windows 10日本語版(64bit版)、Windows 11日本語版(64bit版)
ブラウザ: Microsoft Edge、Google Chrome
ディスプレイの解像度: 1024×768以上
- ・ブラウザのポップアップブロック設定は、「無効」に設定してください。ポップアップブロックが「有効」の場合、エラーメッセージなどのポップアップが表示されません。
- ・ブラウザのCookieの設定は「有効」に設定してください。Cookieにログイン認証情報(ユーザー名、パスワード)を保存するため、Cookieが「無効」に設定されているとWeb設定画面が正常に表示されません。
- ・ブラウザのプロキシサーバー設定は「無効」に設定してください。
プロキシサーバー設定が「有効」に設定されていると、プロキシサーバーで規制され、Web設定画面にアクセス出来ない場合があります。
- ・ブラウザの互換表示設定を「無効」に設定してください。
ブラウザの互換表示設定が「有効」に設定されていると、Web設定画面が正常に表示されない場合があります。
- ・使用するパソコンのIPアドレスを「192.168.1.***」に変更してからWeb設定を行ってください。
- ・Windowsは、Microsoft Windows Operating Systemの略です。

●主な特長

本製品は、弊社で開発したアプリケーションをインストールして利用します。

接続例をご確認のうえ、ご利用シーンに応じる構成を選択してください。

接続例	ご利用シーン	来訪者を映像で確認する	エレベーターや自動ドアの制御	備考
接続例 1-1 接続例 1-2	●受付を希望する来訪者を映像で確認する必要がない場合で、二次元コードを使用しないシンプルな構成の受付システムです。 ●来訪者によるタッチパネルディスプレイの操作で受付操作をして、対応者側の電話機を呼び出します。	使用しない (使用不可)	使用しない (使用不可)	本書 P8 をご確認ください。
接続例 2-1 接続例 2-2	●受付を希望する来訪者を映像で確認する必要がない場合で、二次元コードを使用する便利な構成の受付システムです。 ●テナントなどの対応者側であらかじめ二次元コードを発行し、来訪者による二次元コードをかざすことで受付して、対応者側の電話機を呼び出します。	使用しない (使用不可)	使用する/しない (使用可能)	本書 P9 をご確認ください。
接続例 3	●受付を希望する来訪者を映像で確認する必要がある場合で、二次元コードを使用しないシンプルな構成の受付システムです。 ●来訪者によるタッチパネルディスプレイの操作で受付操作をして、対応者側の電話機を呼び出します。	使用する/しない (使用可能)	使用しない (使用不可)	本書 P10 をご確認ください。
接続例 4-1 接続例 4-2	●受付を希望する来訪者を映像で確認する必要がある場合で、二次元コードを使用する便利な構成の受付システムです。 ●テナントなどの対応者側であらかじめ二次元コードを発行し、来訪者による二次元コードをかざすことで受付して、対応者側の電話機を呼び出します。	使用する/しない (使用可能)	使用する/しない (使用可能)	本書 P11 をご確認ください。



⚠ 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

お知らせ

は、本製品を取り扱ううえでの注意事項や知っておくと便利な内容を記載しています。

お知らせ

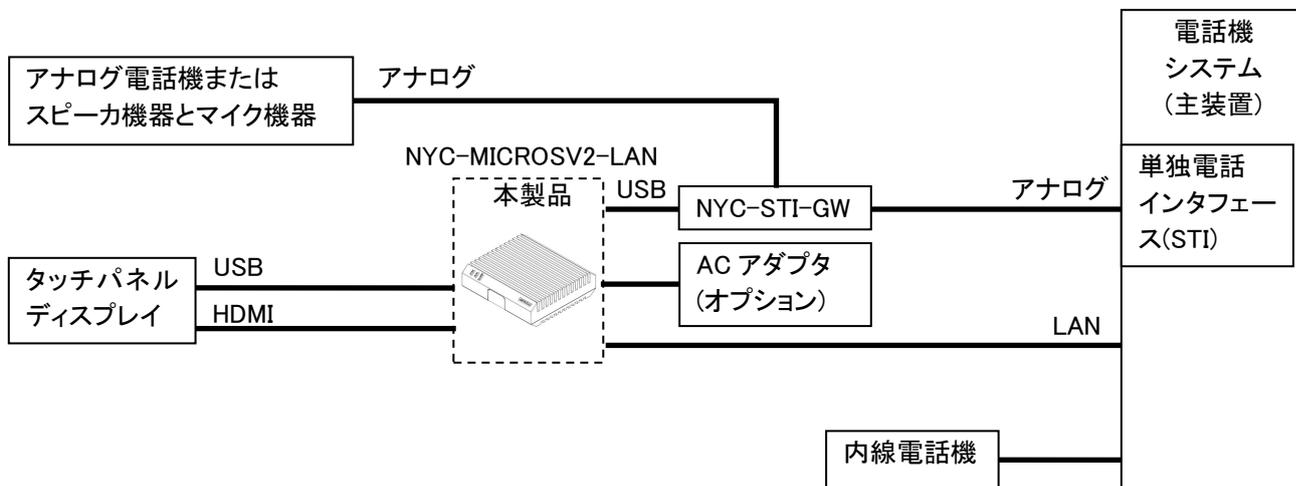
- 詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 受付アプリケーションとは別のアプリケーションをインストールした場合は、ご利用可能な機能や構成が異なります。

●主な特長 ～来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話をする場合～

概要	備考
本製品に受付アプリケーションをインストールした場合、下図の構成で受付システムを構築することができます。接続例1-1及び接続例1-2は、二次元コードを使用しないで、タッチパネルディスプレイの操作でNYC-STI-GWから内線電話機を呼び出す場合の受付システム構成図です。二次元コードを使用しない場合、接点制御はお使いになれません。	(※1)

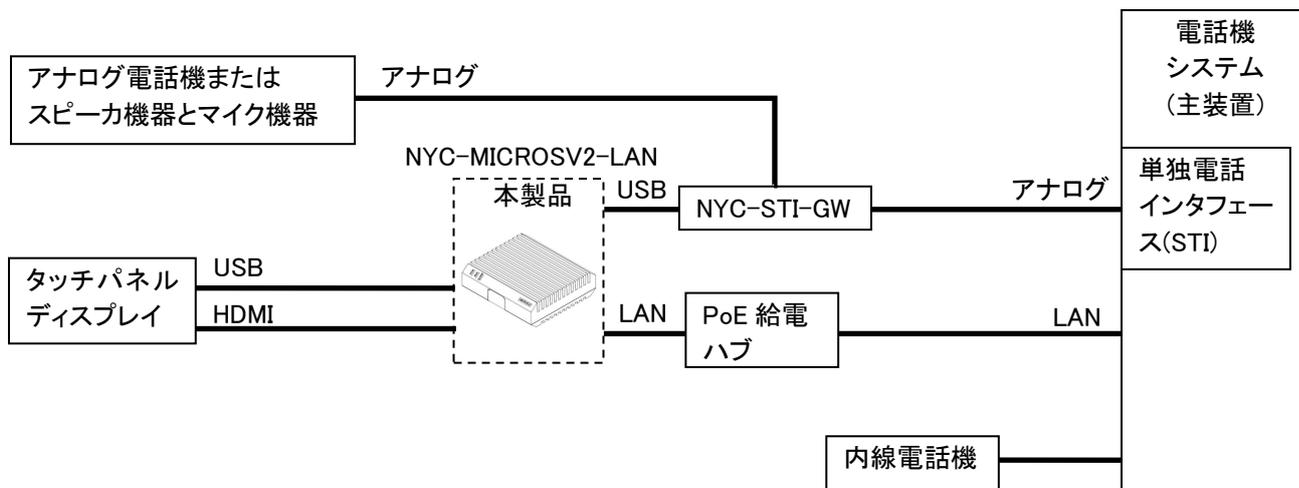
(1)接続例1-1

二次元コードを使用しない受付システムの構成図(オプションのACアダプタを使用する場合)



(2)接続例1-2

二次元コードを使用しない受付システムの構成図(PoE給電ハブを使用する場合)



⚠ 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

お知らせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細は、各機器の説明書をご覧ください。

1. ご利用の前に

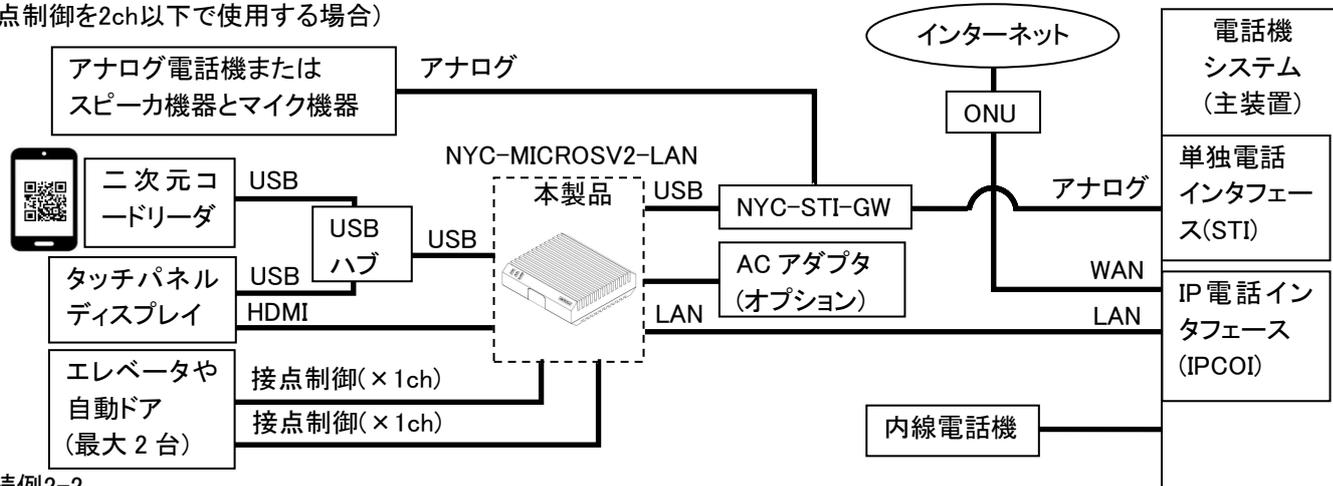
主な特長 ～来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合～

●主な特長 ～来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合～

概要	備考
本製品に受付アプリケーションをインストールした場合、下図の構成で受付システムを構築することができます。接続例2-1及び接続例2-2は、二次元コードリーダーで二次元コードを読み取り、NYC-STI-GWから内線電話機を呼び出す場合の受付システム構成図です。	(※1)

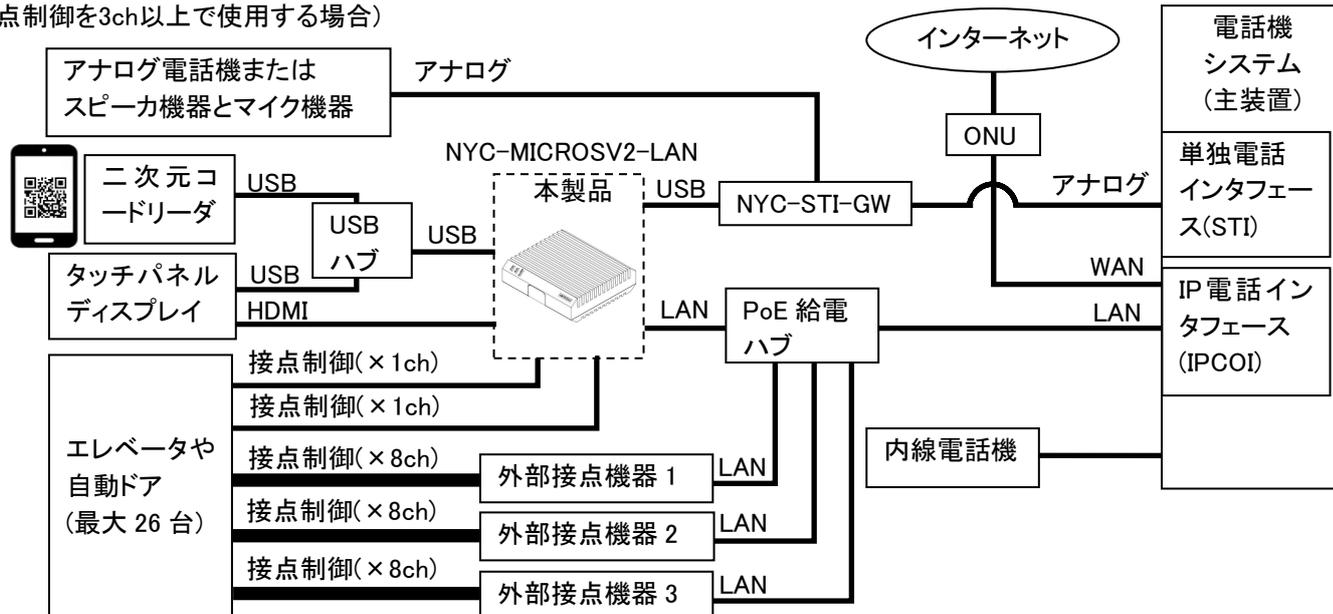
(3)接続例2-1

二次元コードリーダーで二次元コードを読み取り、アナログ電話機などで通話をする受付システムの構成図
(接点制御を2ch以下で使用する場合)



(4)接続例2-2

二次元コードリーダーで二次元コードを読み取り、アナログ電話機などで通話をする受付システムの構成図
(接点制御を3ch以上で使用する場合)



⚠ 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

おねがい

- 二次元コードリーダーは、USBハブ(セルフパワータイプ)に接続してください。

おしらせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 3ch以上の接点制御を行う場合は、外部接点機器をお使いください。接点制御の使用方法は、本書の「4章 ●動作確認(接点制御機器)」からご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細は、各機器の説明書をご覧ください。

1. ご利用の前に

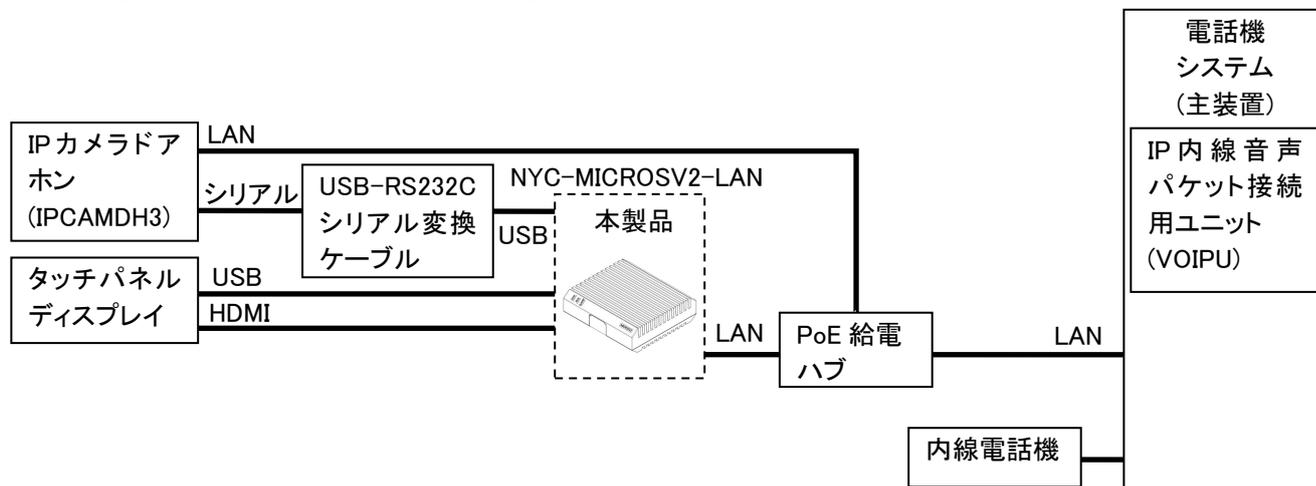
主な特長 ～来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合～

●主な特長 ～来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合～

概要	備考
<p>本製品に受付アプリケーションをインストールした場合、下図の構成で受付システムを構築することができます。接続例3は、二次元コードを使用しないで、タッチパネルディスプレイの操作でIPカメラドアホンから内線電話機を呼び出す場合の受付システム構成図です。二次元コードを使用しない場合、接点制御はお使いになれません。IPカメラドアホンからの映像を確認する場合、内線電話機を大型LCD付IP電話機(IPLD)などにする必要があります。</p>	(※1)

(5)接続例3

二次元コードを使用しないIPカメラドアホンでの受付システムの構成図



⚠ 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

お知らせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細は、各機器の説明書をご覧ください。

1. ご利用の前に

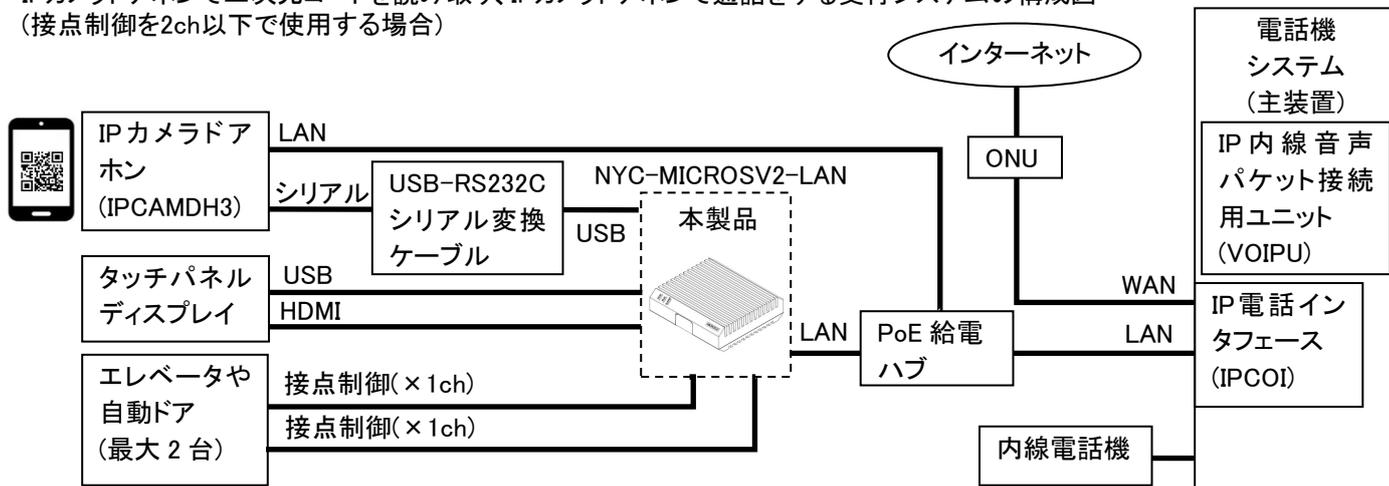
主な特長 ～来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合～

●主な特長 ～来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合～

概要	備考
本製品に受付アプリケーションをインストールした場合、下図の構成で受付システムを構築することができます。 接続例4-1及び接続例4-2は、IPカメラドアホンで二次元コードを読み取り、IPカメラドアホンから内線電話機を呼び出す場合の受付システム構成図です。 IPカメラドアホンからの映像を確認する場合、内線電話機を大型LCD付IP電話機(IPLD)などにする必要があります。	(※1)

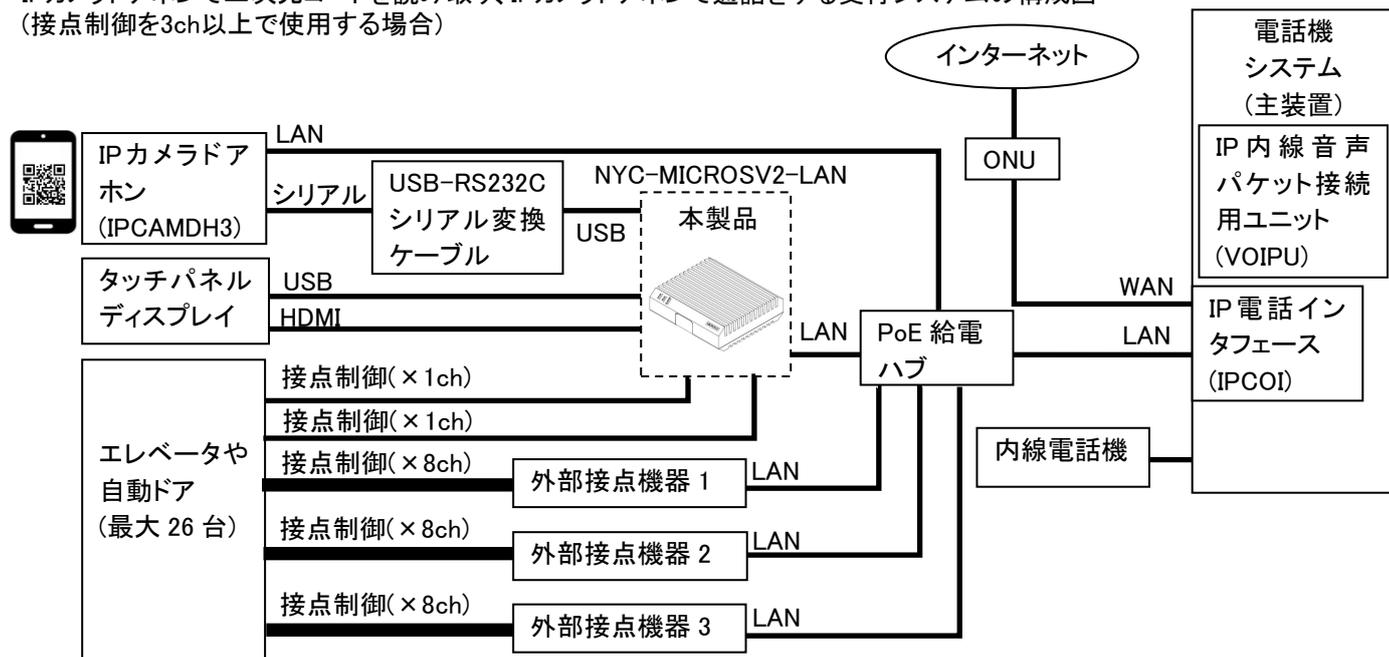
(6)接続例4-1

IPカメラドアホンで二次元コードを読み取り、IPカメラドアホンで通話をする受付システムの構成図
(接点制御を2ch以下で使用する場合)



(7)接続例4-2

IPカメラドアホンで二次元コードを読み取り、IPカメラドアホンで通話をする受付システムの構成図
(接点制御を3ch以上で使用する場合)



警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

お知らせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 3ch以上の接点制御を行う場合は、外部接点機器をお使いください。接点制御の使用方法は、本書の「4章 ●動作確認(接点制御機器)」からご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細は、各機器の説明書をご覧ください。

●主な仕様

項目		仕様	備考
通信インタフェース	USB: 2Port	USB2.0	—
	HDMI: 1Port	Ver.1.4	—
	ETHER: 1Port	10BASE-T: IEEE802.3 準拠 100BASE-TX: IEEE802.3u 準拠 1000BASE-T: IEEE802.3ab 準拠	AutoMDI/MDI-X 対応
無電圧接点出力端子: 2ch		無電圧メーク接点方式 最大開閉電圧: DC30V 最大開閉電流: 1A 接続ケーブル: 単線 AWG20~AWG26 A接点	(※1)
ランプ	POWランプ	緑色LED	(※2)
	RUNランプ	緑色LED	(※2)
	ALARMランプ	赤色LED	(※2)
	LANランプ	緑色LED	(※2)
RESETスイッチ		ハードリセット用スイッチ	—
MODE SWITCH		モード切替用スイッチ	(※3)
時刻情報保持	保持期間	約7年以上(コイン形リチウム電池)	—
	精度	月差±2分	—
電源	PoE受電	IEEE802.3af クラス0 準拠	(※1)
	オプションAC アダプタ	入力電圧: AC100V 入力周波数: 50/60Hz 出力電圧: DC12.0V 出力電流: DC4.0A	
消費電力		約12W	—
外形寸法		約165(W) × 約155(D) × 約51(H)mm	ゴム足含む
重量		約485g	—
使用環境		温度0 ~ 40°C 湿度20 ~ 85%(結露なきこと)	—
適合規格		VCCIクラスB機器	—

おねがい

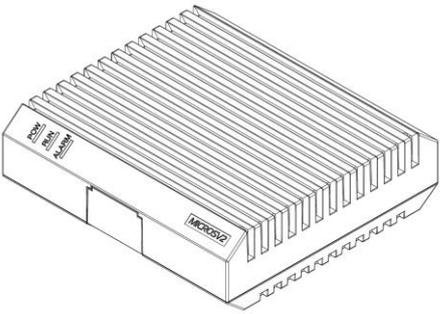
- 本製品の接点仕様はA接点です。外部機器が必要とする接点仕様がB接点やC接点の場合は、外部接点機器(ETH008-B)をお使いください。

おしらせ

- (※1)本製品以外の接続機器やオプションに関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- (※2)ランプの詳細は、本書の「1章 ●ランプ表示説明」を参照してください。
- (※3)MODE SWITCHの詳細は、本書の「付録 ●MODE SWITCHの機能詳細」を参照してください。

● 構成品

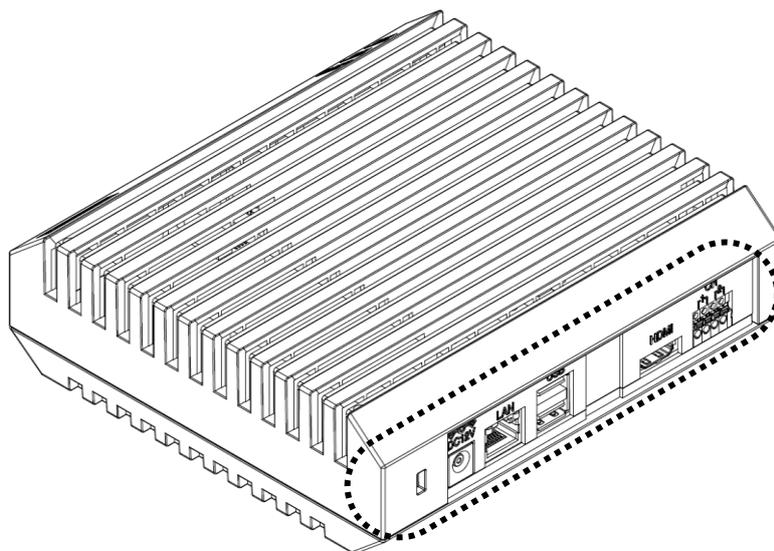
本製品は、製品本体と付属品で構成されています。設置前に全て揃っているか確認してください。
万一、足りないものがありましたら、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。

NYC-MICROSV2-LAN[1 台]	はじめにお読みください[1 部]
	

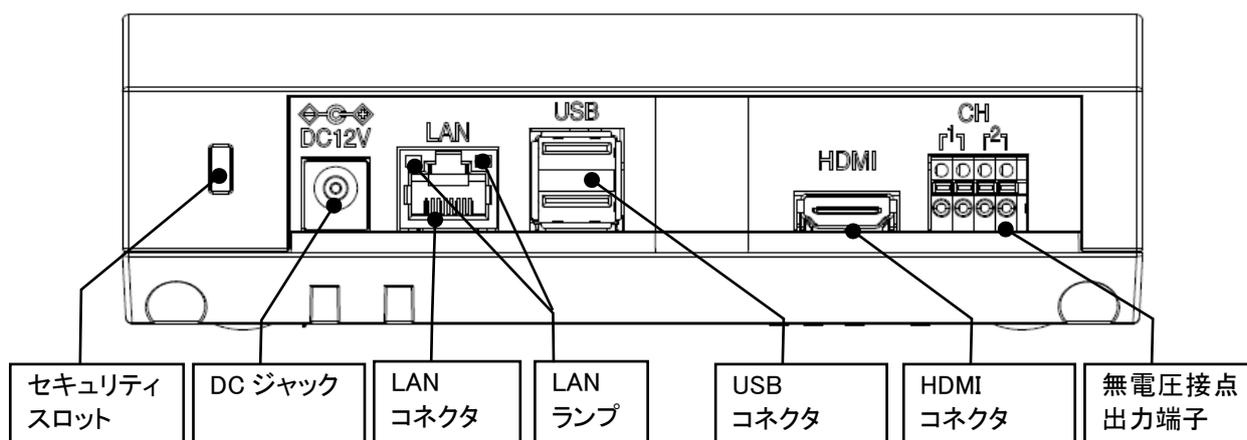
おしらせ

- 本製品はPoE受電を基本としており、ACアダプタを付属しておりません。
PoE受電を使用しない場合は、オプションACアダプタを購入してください。

●外観/各部の説明



拡大

セキュリティ
スロット

DC ジャック

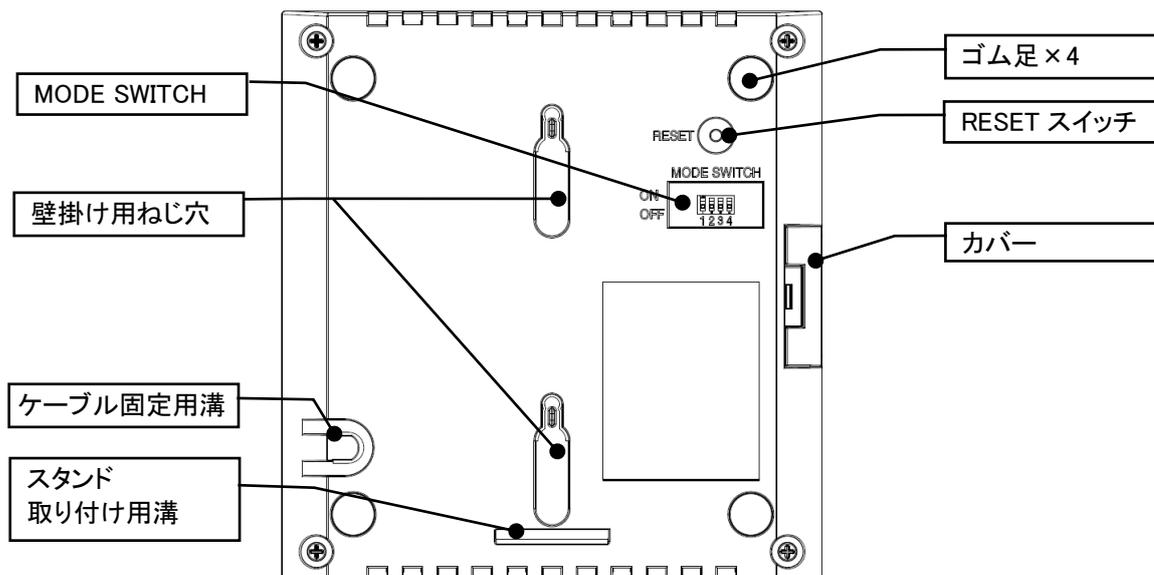
LAN
コネクタLAN
ランプUSB
コネクタHDMI
コネクタ無電圧接点
出力端子

各部の名称	説明
セキュリティスロット	盗難防止用としてご使用ください。(スロットサイズ:3mm×7mm)
DCジャック	オプションACアダプタ(※1)を接続します。
LANコネクタ	LANケーブルを接続します。(PoE受電対応)(※1)
LANランプ	LANの通信状態を表示します。詳細は、本書の「●ランプ表示の説明」をご確認ください。
USBコネクタ	USB機器を接続します。(※1)
HDMIコネクタ	タッチパネルディスプレイ(画像表示機器)を接続します。(※1)(※2)
無電圧接点出力端子	接点制御出力端子です。エレベーターや自動ドアなどの外部機器と接続します。

おしらせ

- (※1)本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認ください。
- (※2)HDMIをVGAなどに変換するアダプタやケーブルなどは、お使いになれません。

【底面図】



各部の名称	説明
MODE SWITCH	IPアドレス等を一時的に初期値へ戻したり、設定等の初期化を行います。先端の細いもので操作してください。
壁掛け用ねじ穴	本製品を壁掛け設置する際に使用します。
ケーブル固定用溝	オプションACアダプタのケーブル固定に使用します。
スタンド取り付け用溝	オプションのスタンドを取り付けする際に使用します。
ゴム足	本製品が滑らないようにします。
RESETスイッチ	本製品をリセットします。押しづらい場合は、先端の細いもので押ししてください。
カバー	工事には使用しませんので外さないでください。

MODE SWITCHの機能説明

工場出荷時のMODE SWITCHはすべてOFFになっています。

MODE SWITCH状態				説明	備考
MODE SWITCH1	MODE SWITCH2	MODE SWITCH3	MODE SWITCH4		
OFF	OFF	OFF (ONにはしないでください)	OFF	通常起動	—
ON	OFF		OFF	アプリケーション側初期化起動	アプリケーションの設定を初期化します。
OFF	ON		OFF	IPデフォルト設定	—
ON→OFF (※1)	ON→OFF (※1)		ON	リカバリ機能 (工場出荷時)	ファームウェアを製品出荷時のファームウェアバージョンに戻します。(インストール済のアプリケーションは削除する)
ON→OFF (※1)	ON→OFF (※1)		OFF	リカバリ機能 (アプリケーションのみ削除する)	ファームウェアは戻されず、リカバリ前のバージョンを継続します。(インストール済のアプリケーションは削除する)

(※1) 「ON→OFF」はMODE SWITCHをあらかじめONにした状態で本製品を起動し、リカバリ開始待ち中のLEDを確認して、MODE SWITCHをOFFにします。

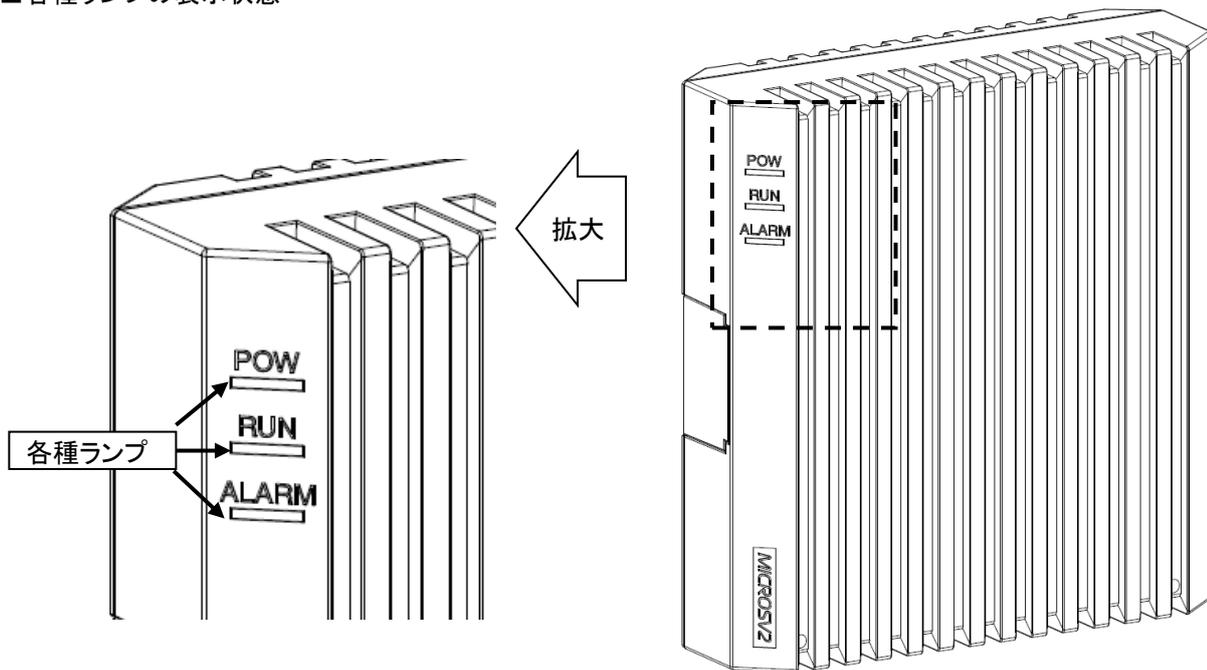
MODE SWITCHの機能

MODE SWITCHで、上表に記載の機能が選択できます。

電源を切った状態(ACアダプタまたはLANケーブルを抜いた状態)で設定を変更してください。電源を入れたときに変更した内容が有効になります。詳細は、本書の「付録 ●MODE SWITCHの機能詳細」を参照してください。

●ランプ表示説明

■各種ランプの表示状態

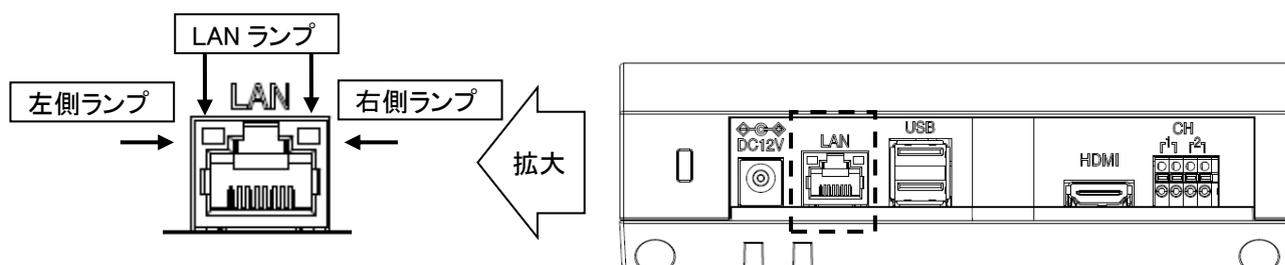


表示パターン			状態
POW (緑)	RUN (緑)	ALARM (赤)	
消灯	消灯	消灯	電源OFF
点灯	遅点滅	消灯	起動中
点灯	点滅	点滅	リカバリ開始待ち中
点灯	早点滅	早点滅	リカバリ中
点灯	早点滅	消灯	ファームウェア更新中
点灯	点滅	消灯	IPデフォルト設定中
点灯	消灯	早点滅	動作不可(データ設定異常)
点灯	消灯	遅点滅	アプリケーション未インストール
点灯	点灯	消灯	正常起動

■各種ランプの点滅パターン

種類	点滅パターン	
消灯	ON OFF	常時消灯
点灯	ON OFF	常時点灯
早点滅	ON OFF	240INT 125ms点灯、125ms消灯の繰り返し
点滅	ON OFF	60INT 500ms点灯、500ms消灯の繰り返し
遅点滅	ON OFF	30INT 1000ms点灯、1000ms消灯の繰り返し

■LANランプの表示状態



ランプ名称	色	表示パターン	状態
LANランプ (※1)	緑	消灯	ETHER未接続
		点滅	通信中
		点灯	接続中

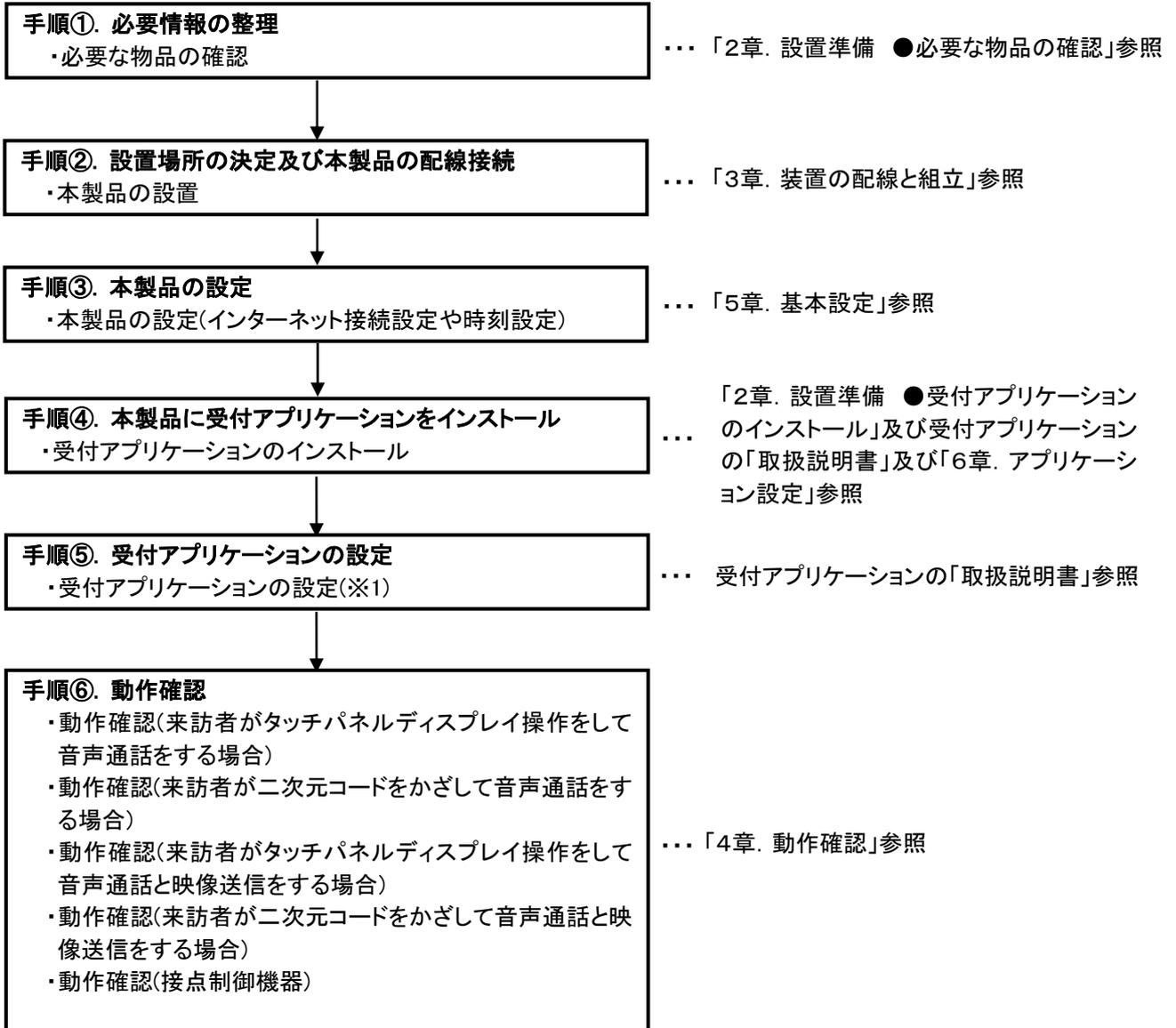
(※1) 10BASE-T/100BASE-TXでは左側のランプのみ点灯/点滅します。
1000BASE-TXでは右側ランプのみ点灯/点滅します。

2章. 設置準備

●設置工事の手順

ここでは、本製品の設置工事の手順について説明します。

下記手順を始める前に、本製品と接続する電話機システム(主装置)や内線電話機が使用可能なことを確認してください。



おねがい

- 本製品や本製品に接続した各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合、チェーンロックなどの盗難防止対策を行うことを推奨します。
- 本製品にチェーンロックを接続する場合は、セキュリティスロットをお使いください。
- (※1)受付アプリケーションの設定完了後、受付アプリケーションの設定をバックアップしてください。

●必要な物品の確認

受付システムを構築するために必要な物品を記載します。

■来訪者を映像で確認しない場合

項目	型番	必須物品		参考
		二次元コードを使用しない場合	二次元コードを使用する場合	
本製品	NYC-MICROSV2-LAN	○	○	—
オプションACアダプタ	NYC-ACADP-MICROSV2	—	—	(※1)(※4)
オプションスタンド	NYC-STAND-MICROSV2	—	—	(※2)
ライセンス発行票	NYC-RECEPTION-APP-MS	○	○	(※1)
受付アプリケーション (NYC Reception APP MS)	—	○	○	(※3) USBメモリ
主装置と単独電話インターフェース	—	○	○	(※1)(※5)
IP電話インターフェース (インターネット回線契約含む)	—	—	○	(※1)(※4)
二次元コードリーダー	—	—	○	(※4)(※6)(※7)
USBハブ(セルフパワータイプ)	—	—	○	(※4)(※6)(※7)
PoE給電ハブ	—	○	○	(※4)(※6)(※7)
タッチパネルディスプレイ	—	○	○	(※4)(※6)(※7)
外部接点機器	—	—	—	(※4)(※6)(※7)
NYC-STI-GW	NYC-STI-GW	○	○	(※1)
スピーカ機器とマイク機器 またはアナログ電話機	—	○	○	(※1)(※4)(※6)(※8) (※10)
各種ケーブル (LAN/HDMI/USB/接点制御用)	—	○	○	(※6)
壁掛け用ねじ	—	—	—	(※9) 種類: 木ねじ(丸ねじ) サイズ: M3.8×25 数量: 2本

・数量は設置するシステムに応じてご用意ください。

おねがい

- (※1)本製品とは別売りです。本製品とは別に購入してください。
- (※2)本製品を縦置き設置するときに必要です。本製品とは別に購入してください。
- (※3)本書の「2章 ●受付アプリケーションのインストール」や「6章 アプリケーション設定」をご確認ください。受付アプリケーションの詳細は「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※4)ご利用ケースに応じて、必要な機器を用意してください。
- (※5)本製品は供給電流が20mA～40mAの電話機システム(主装置)に接続してください。
- (※6)市販のものを購入してください。
- (※7)「NYC-MICROSV2-LAN 接続確認物品一覧」をご参照ください。本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- (※8)「NYC-STI-GW 機器接続確認資料」をご参照ください。本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- (※9)本製品を壁掛け設置するときに必要です。市販のものを購入してご使用ください。
- (※10)直流抵抗が300Ωを超えるアナログ電話機をご利用される場合は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

おしらせ

- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 二次元コードを使用しない場合、インターネット接続は不要です。
- 3ch以上の接点制御を行う場合は、外部接点機器をお使いください。

■ 来訪者を映像で確認する場合

項目	型番	必須物品		参考
		二次元コードを使用しない場合	二次元コードを使用する場合	
本製品	NYC-MICROSV2-LAN	○	○	—
オプションACアダプタ	NYC-ACADP-MICROSV2	—	—	(※1)(※4)
オプションスタンド	NYC-STAND-MICROSV2	—	—	(※2)
ライセンス発行票	NYC-RECEPTION-APP-MS	○	○	(※1)
受付アプリケーション (NYC Reception APP MS)	—	○	○	(※3) USBメモリ
主装置	—	○	○	(※1)
IP電話インタフェース (インターネット回線契約含む)	—	—	○	(※1)(※4)
IP内線音声パケット接続用ユニット	—	○	○	(※1)
PoE給電ハブ	—	○	○	(※1)(※4)(※5)(※6)
IPカメラドアホン	IPCAMDH3	○	○	(※1)
IPCAMDH3-シリアルケーブル	IPCAMDH3-シリアルケーブル	○	○	(※1)
USB-RS232Cシリアル変換ケーブル	—	○	○	(※5)(※6)
タッチパネルディスプレイ	—	○	○	(※4)(※5)(※6)
外部接点機器	—	—	—	(※4)(※5)(※6)
各種ケーブル (LAN/HDMI/USB/接点制御用)	—	○	○	(※5)
壁掛け用ねじ	—	—	—	(※7) 種類:木ねじ(丸ねじ) サイズ:M3.8×25 数量:2本

・数量は設置するシステムに応じてご用意ください。

おねがい

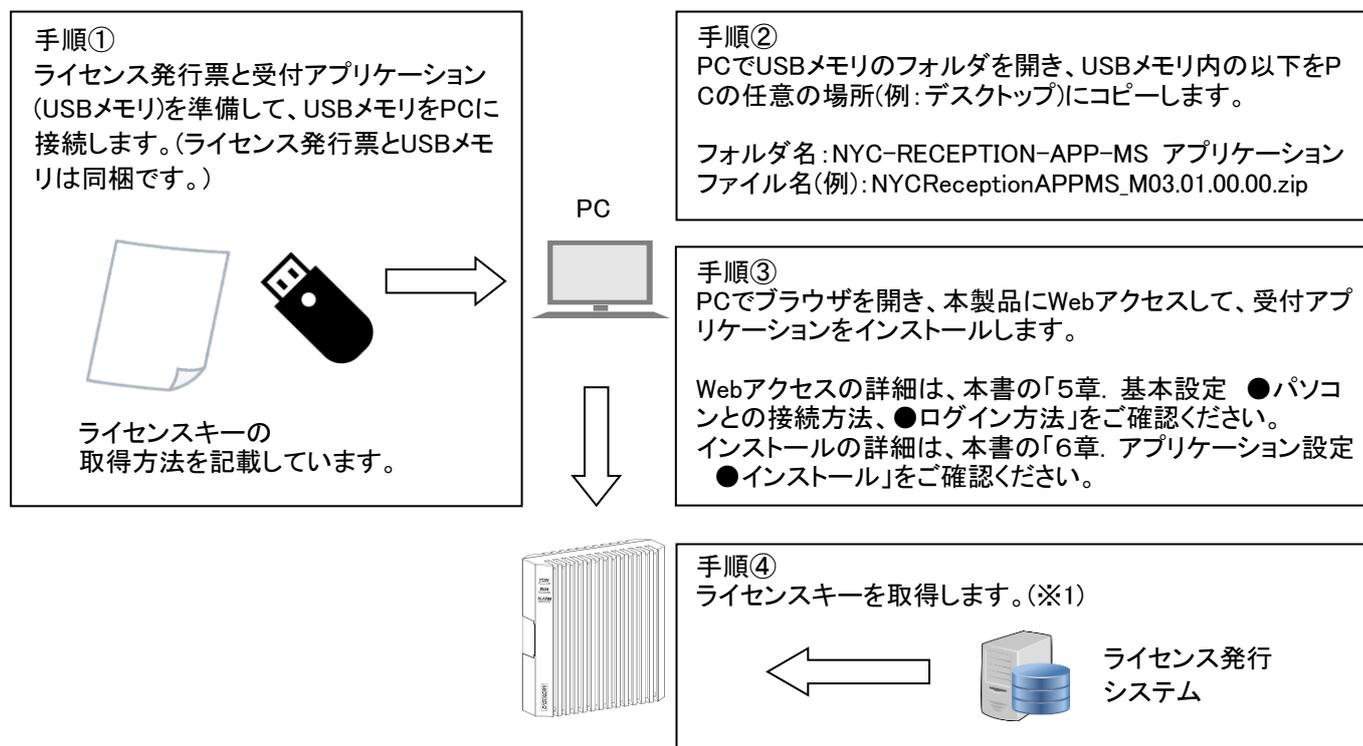
- (※1)本製品とは別売りです。本製品とは別に購入してください。
- (※2)本製品を縦置き設置するときに必要です。本製品とは別に購入してください。
- (※3)本書の「2章 ●受付アプリケーションのインストール」や「6章 アプリケーション設定」をご確認ください。受付アプリケーションの詳細は「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※4)ご利用ケースに応じて、必要な機器を用意してください。
- (※5)市販のものを購入してください。
- (※6)「NYC-MICROSV2-LAN 接続確認物品一覧」をご参照ください。本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- (※7)本製品を壁掛け設置するときに必要です。市販のものを購入してご使用ください。

おしらせ

- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 二次元コードを使用しない場合、インターネット接続は不要です。
- 3ch以上の接点制御を行う場合は、外部接点機器をお使いください。

●受付アプリケーションのインストール

本製品に受付アプリケーションをインストールし、ライセンスキーを登録(※1)することで、受付アプリケーションを使用することができます。



おねがい

- (※1)ライセンス登録の詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。

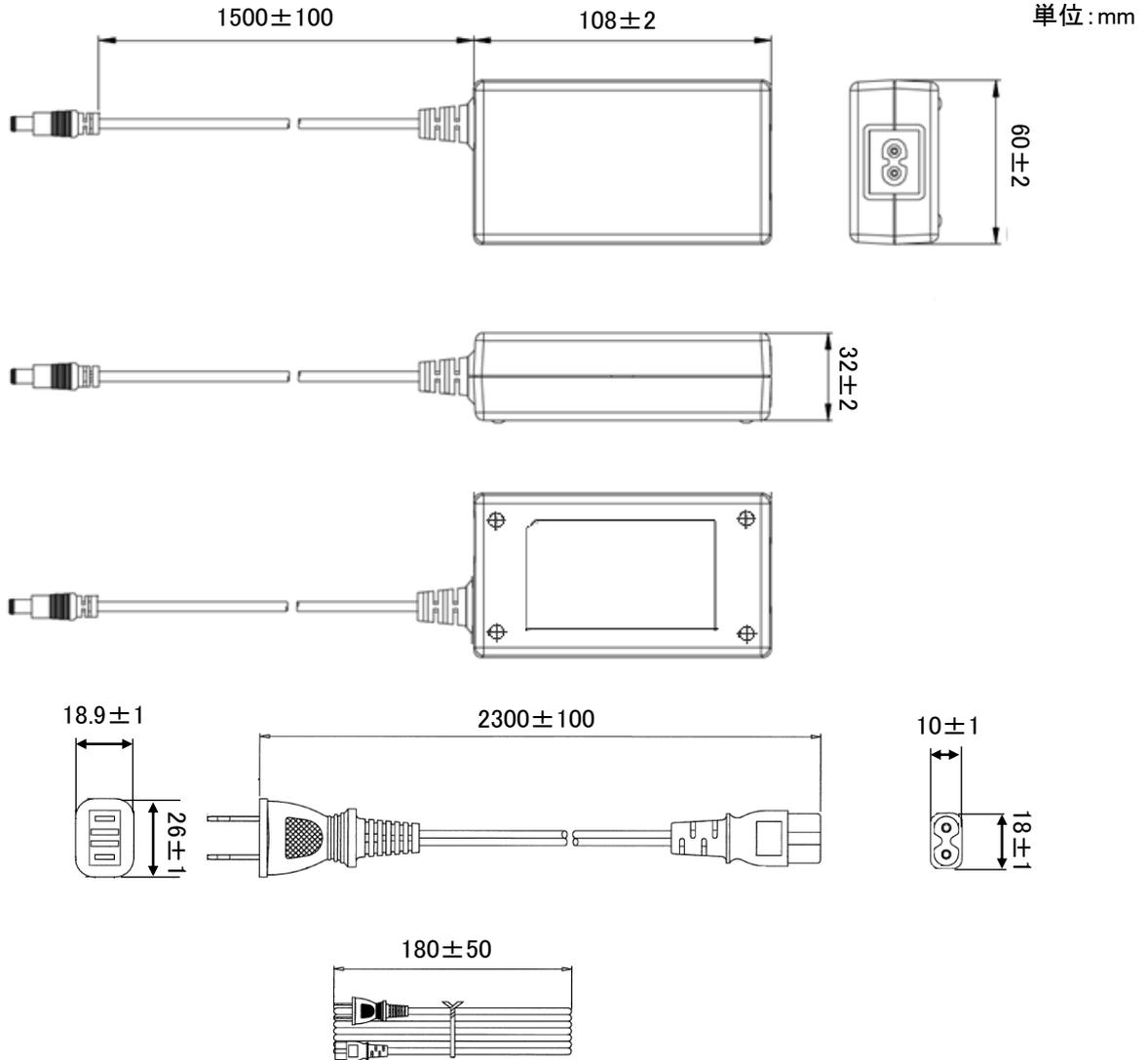
おしらせ

- 本製品のUSBコネクタにUSBメモリを挿入して、アプリケーションをインストールすることはできません。

●別売品(オプション機器)

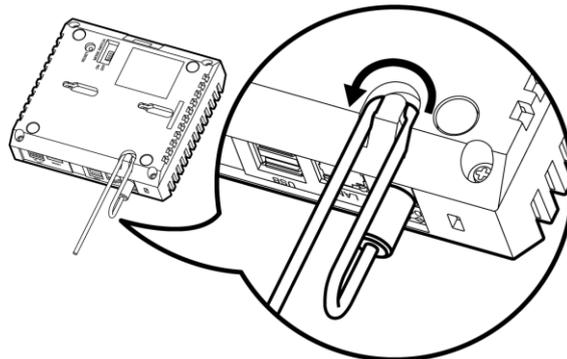
オプションACアダプタ

名称	説明	品名	数量
オプションACアダプタ	PoE受電を使用せず、ACアダプタで本製品に給電する際に使用します。(※1)	NYC-ACADP-MICROSV2	1個



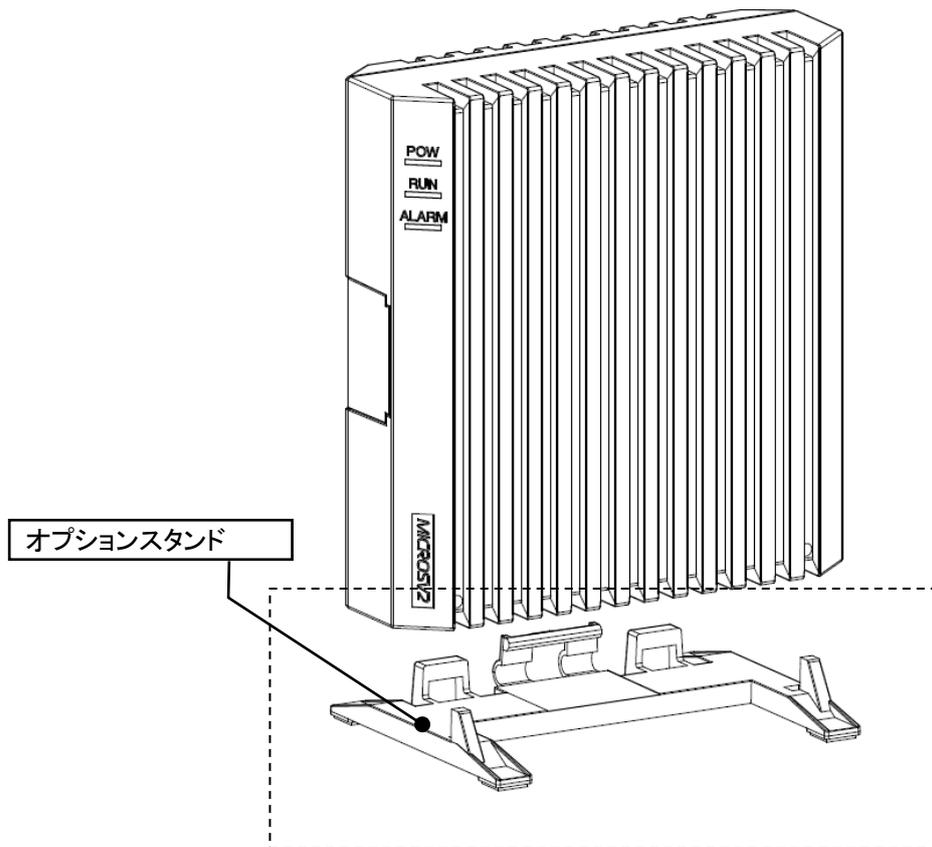
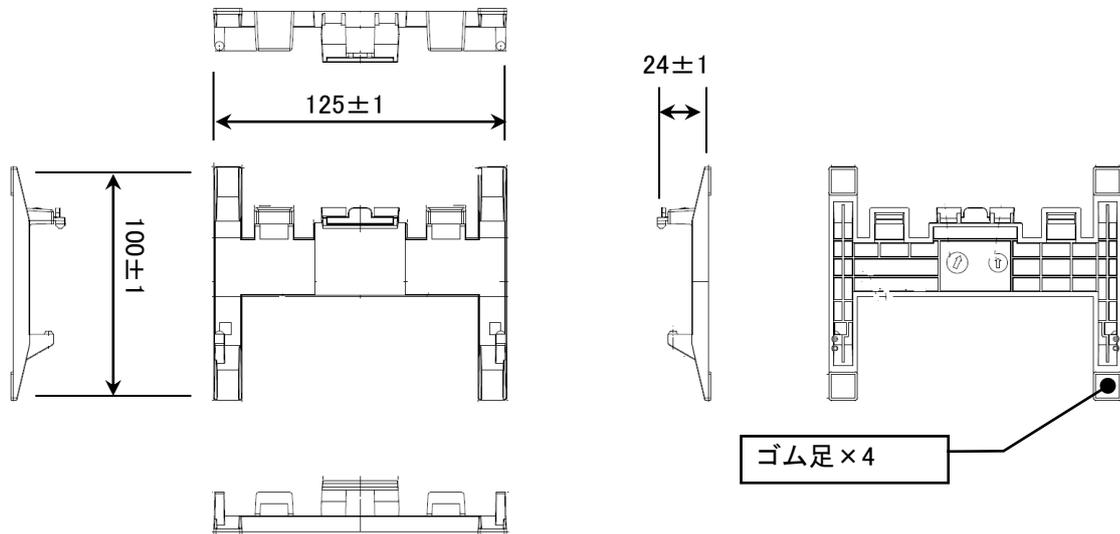
おねがい

- (※1)本製品はPoE受電を基本としており、ACアダプタを付属していません。
PoE受電を使用しない場合は、オプションACアダプタを購入してください。
- オプションACアダプタはケーブルの抜け防止のため、下図のようにケーブルを溝に固定してください。



オプションスタンド

名称	説明	品名	数量
オプションスタンド	縦置き設置時に使用するスタンドです。	NYC-STAND-MICROSV2	1個



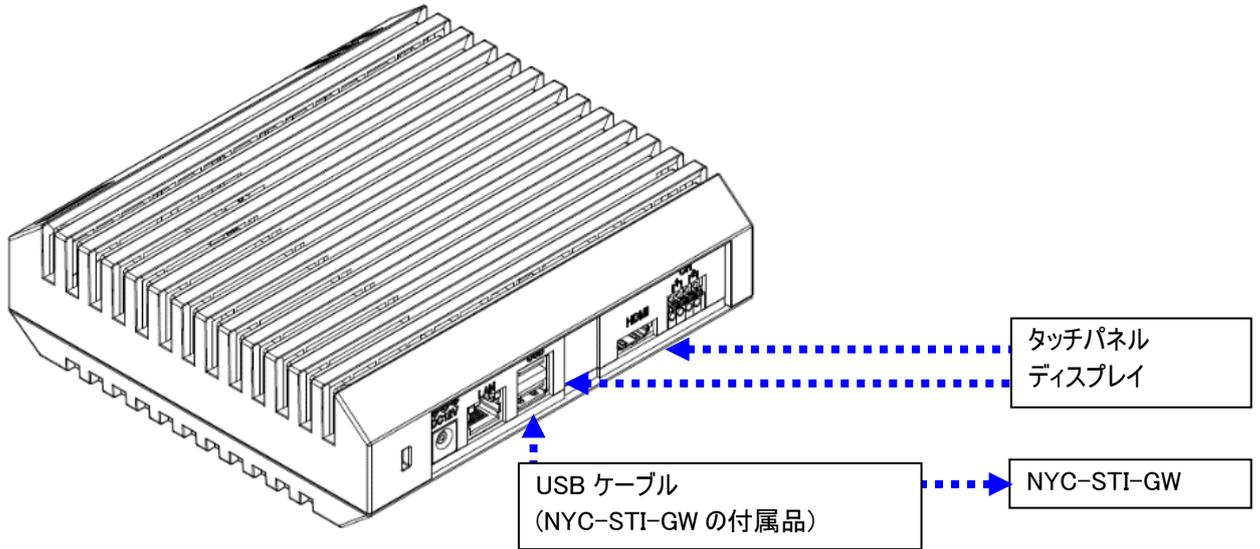
3章. 装置の配線と組立

●本製品の設置(平置き設置) ～来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話をする場合～

1

●各種ケーブルを接続する

- 手順① タッチパネルディスプレイ(HDMIケーブル/USBケーブル)を接続します。
手順② NYC-STI-GWを接続します。



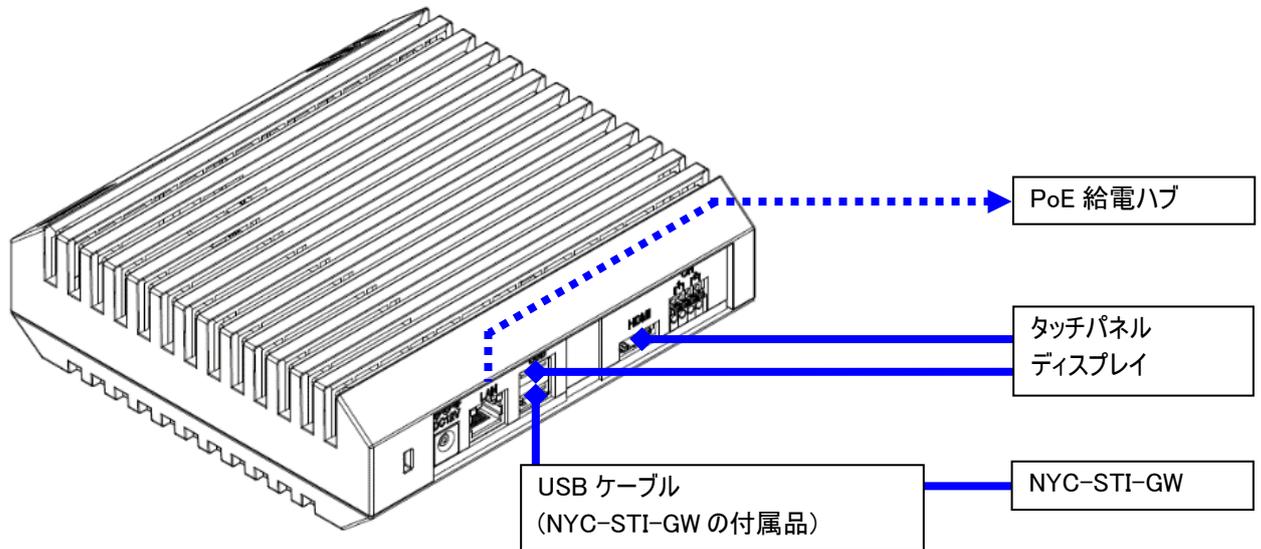
おねがい

- NYC-STI-GWとの接続には、NYC-STI-GWに付属のUSBケーブルを使用してください。
- 各ケーブルは、コネクタにしっかりと差し込んでください。

2

●LANケーブルを接続する

手順① PoE給電ハブに接続して、本製品を起動します。



おねがい

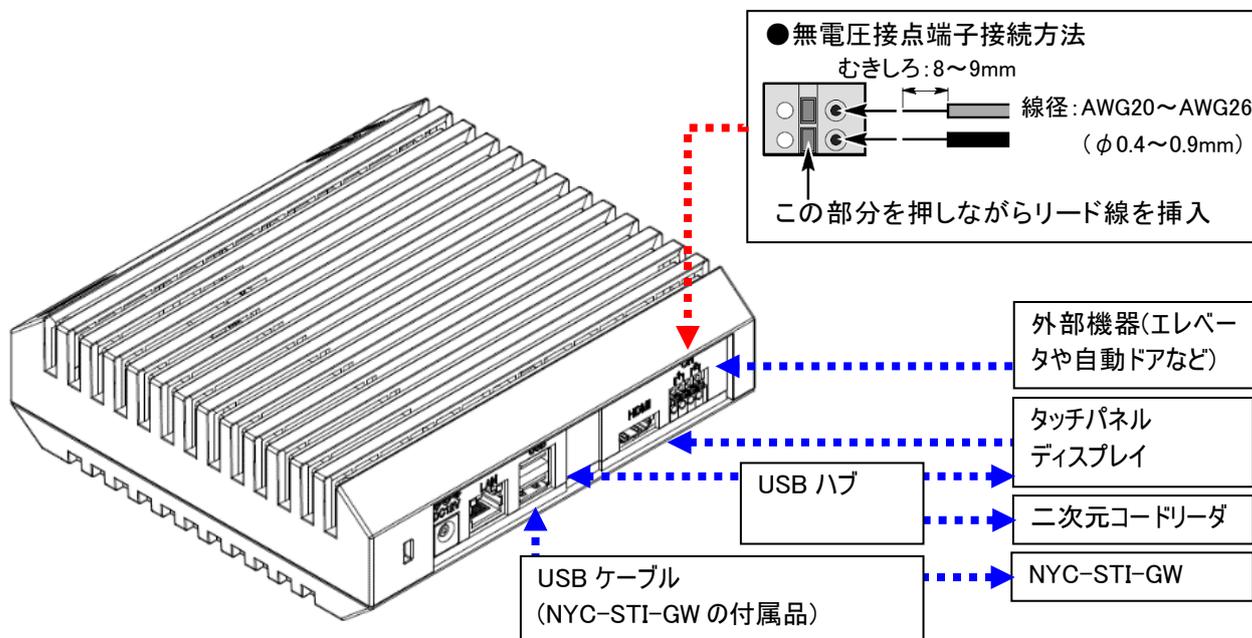
- LANケーブルはカテゴリ5e以上のケーブルを使用してください。通信やPoE受電ができなくなる場合があります。
- LANケーブルの長さは100m以内になしてください。

●本製品の設置(平置き設置) ～来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合～

7

●各種ケーブルを接続する

- 手順① タッチパネルディスプレイ(HDMIケーブル/USBケーブル)、USBハブ、二次元コードリーダーを接続します。
必要に応じて無電圧接点に外部機器(エレベータや自動ドアなど)を接続します。(※1)
- 手順② NYC-STI-GWを接続します。



おねがい

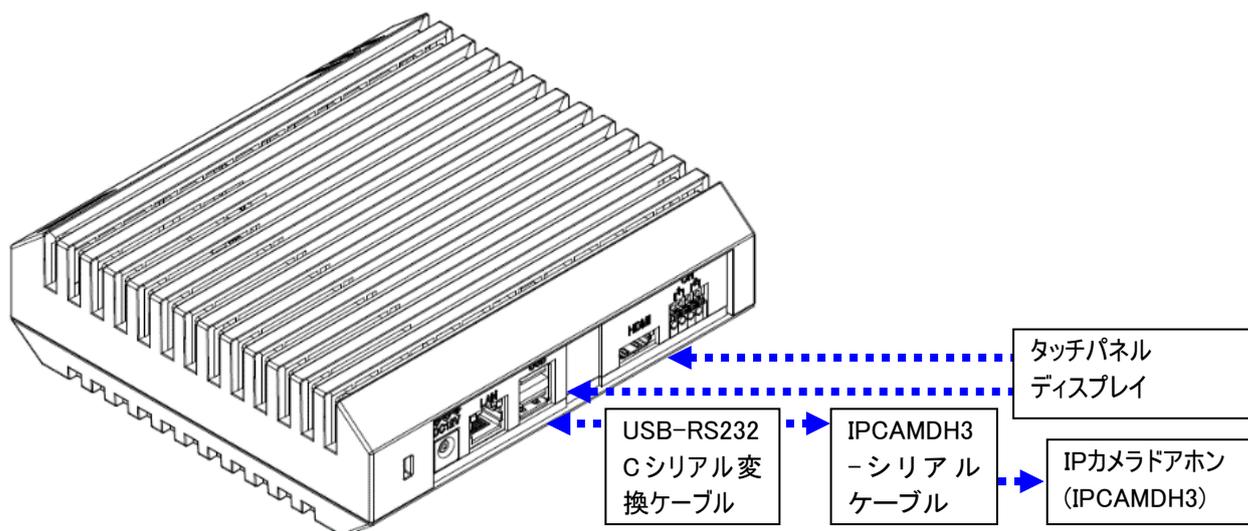
- (※1)無電圧接点に接続する外部機器(エレベータや自動ドアなど)の設定は、本書の「4章. ●動作確認(接点制御機器)」をご確認ください。
- NYC-STI-GWとの接続には、NYC-STI-GWに付属のUSBケーブルを使用してください。
- 各ケーブルは、コネクタにしっかりと差し込んでください。

●本製品の設置(平置き設置) ～来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合～

7

●各種ケーブルを接続する

- 手順① タッチパネルディスプレイ(HDMIケーブル/USBケーブル)、USB-RS232Cシリアル変換ケーブルを接続します。必要に応じて無電圧接点に外部機器(エレベータや自動ドアなど)を接続します。(※1)
- 手順② 本製品から呼出番号を送信するためUSB-RS232Cシリアル変換ケーブルをIPCAMDH3-シリアルケーブルに接続し、IPカメラドアホンに接続します。



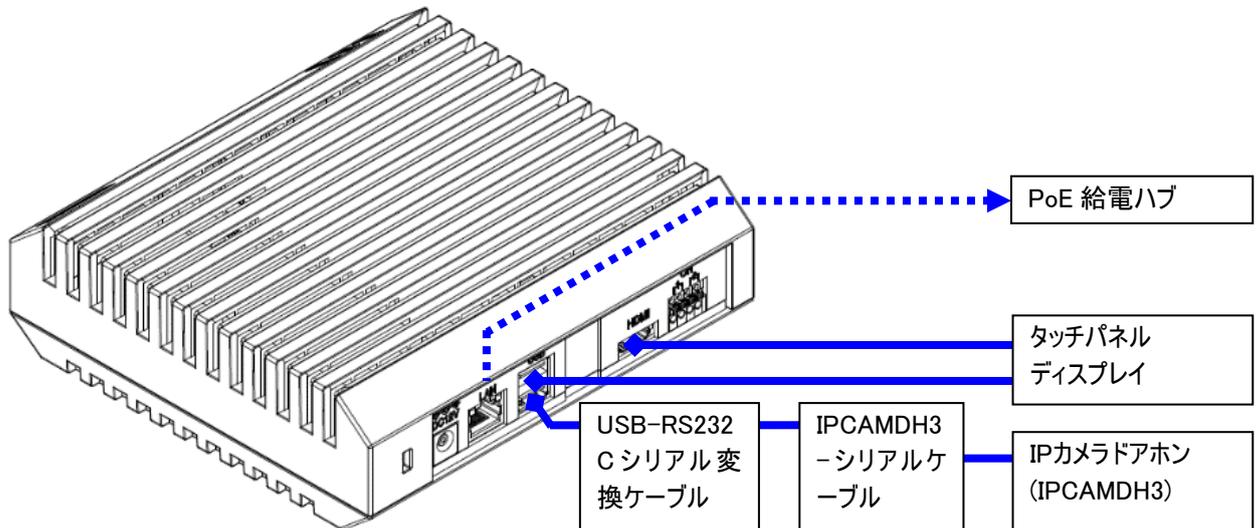
おねがい

- 各ケーブルは、コネクタにしっかりと差し込んでください。

2

●LANケーブルを接続する

手順① PoE給電ハブに接続して、本製品を起動します。



おねがい

- LANケーブルはカテゴリ5e以上のケーブルを使用してください。通信やPoE受電ができなくなる場合があります。
- LANケーブルの長さは100m以内になしてください。

おしらせ

- USB-RS232Cシリアル変換ケーブルは、IPカメラドアホンが内線電話機を呼び出すための呼出番号情報を本製品から受信するために必要です。IPカメラドアホンのオプションのIPCAMDH3-シリアルケーブルとUSB-RS232Cシリアル変換ケーブルを接続し、USB側を本製品に接続します。IPカメラドアホン側の詳細は、IPカメラドアホンの工事説明書を参照してください。

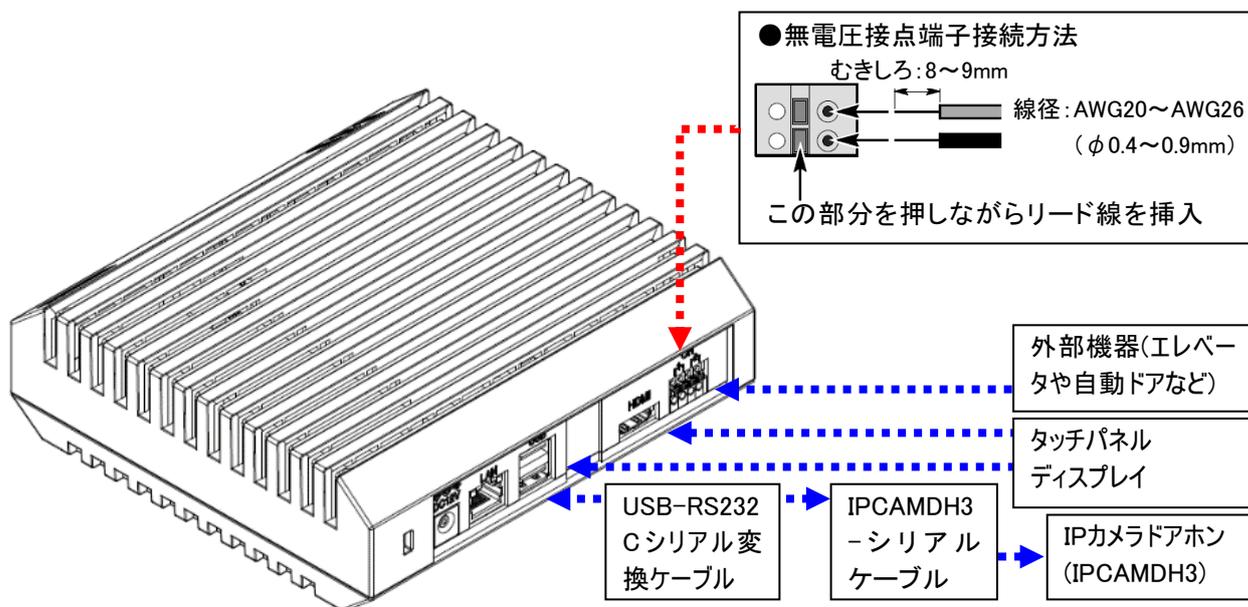
●本製品の設置(平置き設置) ～来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合～

7

●各種ケーブルを接続する

手順① タッチパネルディスプレイ(HDMIケーブル/USBケーブル)、USB-RS232Cシリアル変換ケーブルを接続します。必要に応じて無電圧接点に外部機器(エレベータや自動ドアなど)を接続します。(※1)

手順② 本製品から呼出番号を送信するためUSB-RS232Cシリアル変換ケーブルをIPCAMDH3-シリアルケーブルに接続し、IPカメラドアホンに接続します。



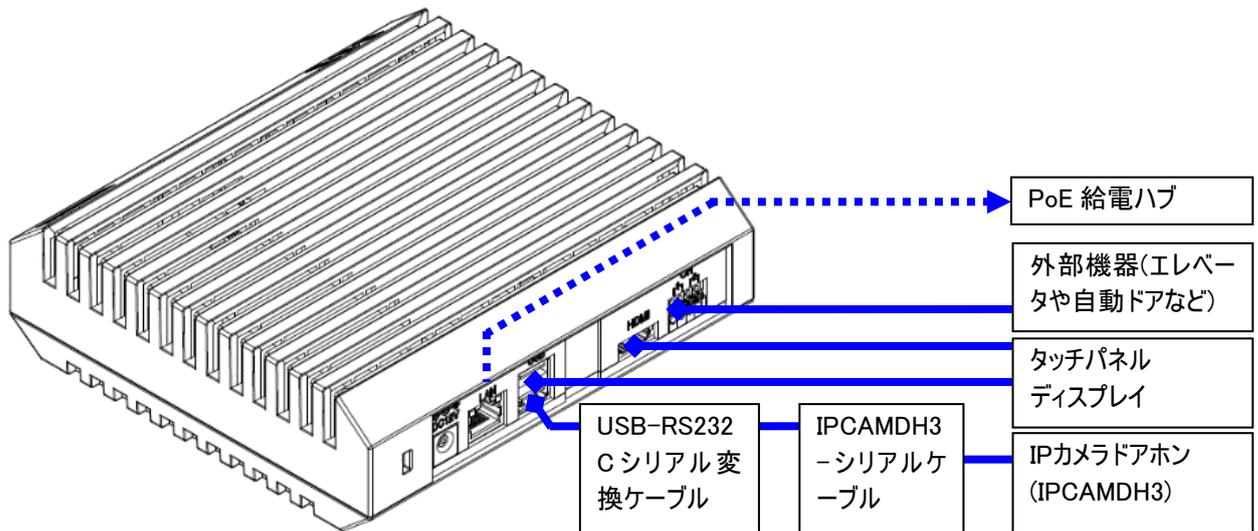
おねがい

- (※1)無電圧接点に接続する外部機器(エレベータや自動ドアなど)の設定は、本書の「4章. ●動作確認(接点制御機器)」をご確認ください。
- 各ケーブルは、コネクタにしっかりと差し込んでください。

2

●LANケーブルを接続する

手順① PoE給電ハブに接続して、本製品を起動します。



おねがい

- LANケーブルはカテゴリ5e以上のケーブルを使用してください。通信やPoE受電ができなくなる場合があります。
- LANケーブルの長さは100m以内にご覧ください。

おしらせ

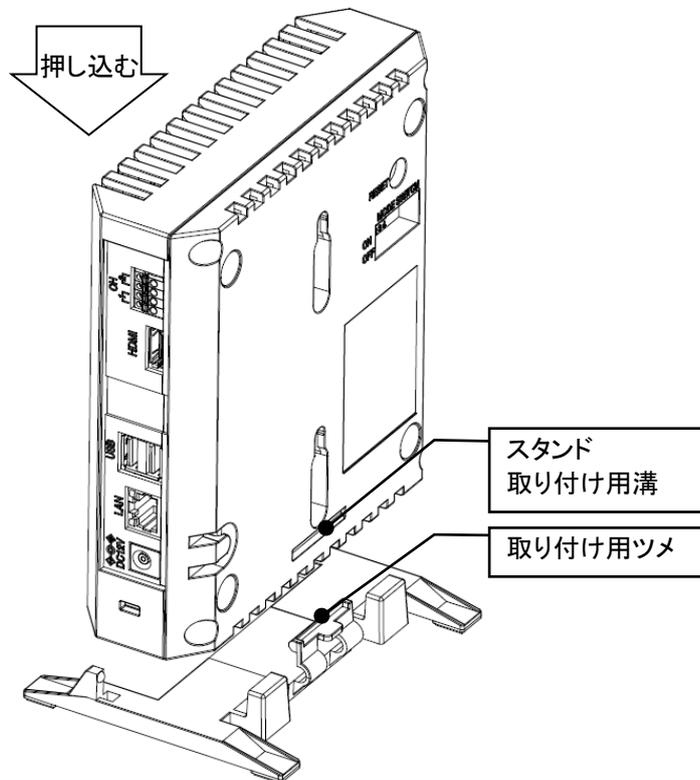
- USB-RS232Cシリアル変換ケーブルは、IPカメラドアホンが内線電話機を呼び出すための呼出番号情報を本製品から受信するために必要です。IPカメラドアホンのオプションのIPCAMDH3-シリアルケーブルとUSB-RS232Cシリアル変換ケーブルを接続し、USB側を本製品に接続します。IPカメラドアホン側の詳細は、IPカメラドアホンの工事説明書を参照してください。

●本製品の設置(縦置き設置)

7

●スタンドを装着する

手順① オプションスタンドの取り付け用ツメを本製品のスタンド取り付け用溝の位置に合わせて、本製品を上から押し込みます。



2

●各種ケーブルを接続する

手順① 本書の「3章 ●本製品の設置(平置き設置)」を参照して各種ケーブルを接続します。

●本製品の設置(壁掛け設置)

7

●各種ケーブルを接続して、壁に取り付ける

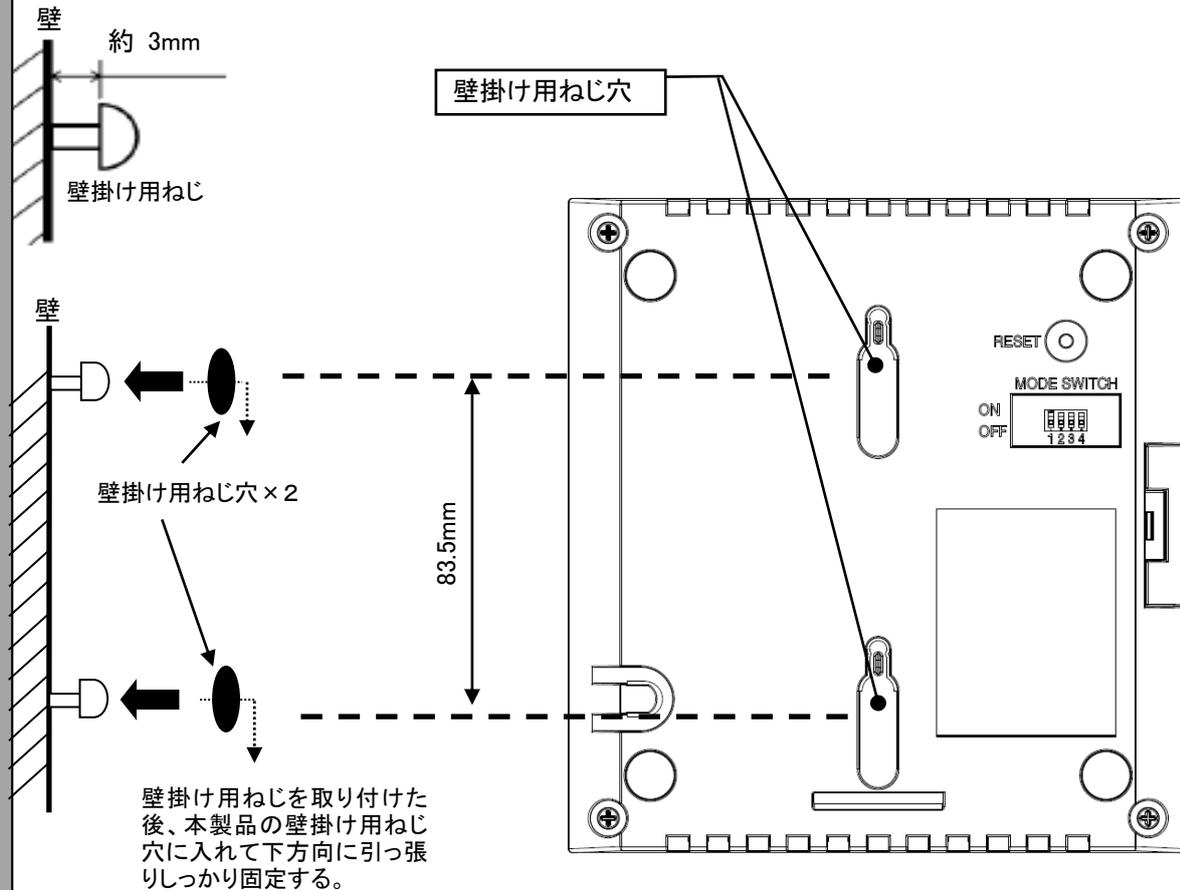
手順① 壁掛け用ねじを壁に取り付けます。

サイズM3.8×25の木ねじ(丸ねじ)2本を準備します。

ねじ頭部は、約3mm浮かせ、2本のねじを上下幅83.5mmで壁に取り付けます。

手順② 本体側面のコネクタ類に各種ケーブルを接続した後、本製品の壁掛け用ねじ穴を壁掛け用ねじの頭に引っ掛け、下方向に引っ張ります。(奥までしっかり入れ、固定します。)

手順③ PoE給電ハブにLANケーブルを接続して本製品を起動します。



⚠ 注意

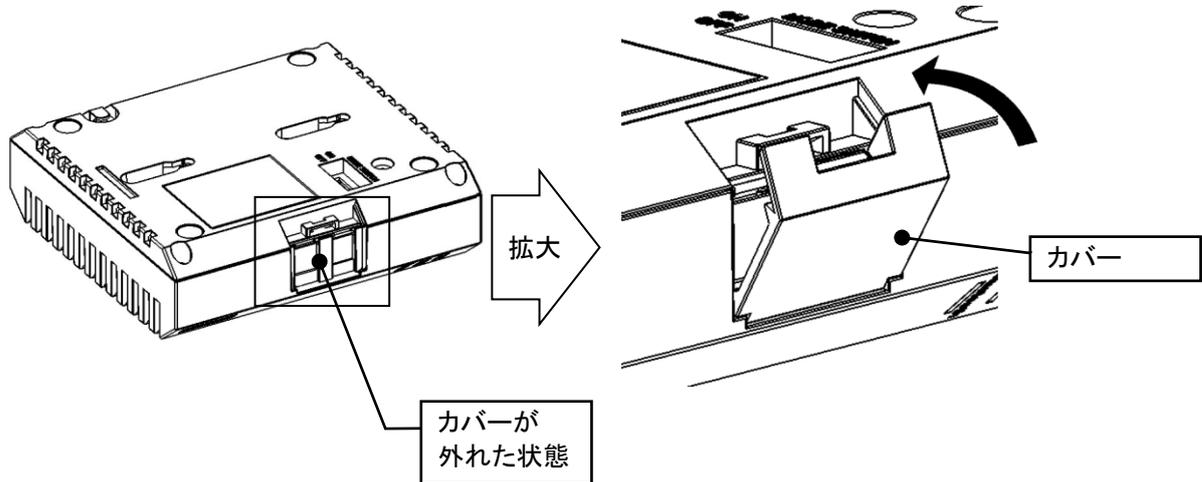
- 本製品を壁掛け設置する場合は、本製品の重みにより落下しないよう堅固に取り付けてください。落下して、けが・破損・故障の原因となることがあります。

●本製品の設置(カバー取付方法)

7

●カバーが外れた場合は、カバーを取り付ける

手順① 落下するなど本製品に強い衝撃が与えられると、カバーが外れる場合があります。
外れたカバーの取付方法は、カバーを筐体に斜めに差し込み、「カチッ」と音が鳴るまで戻します。



おねがい

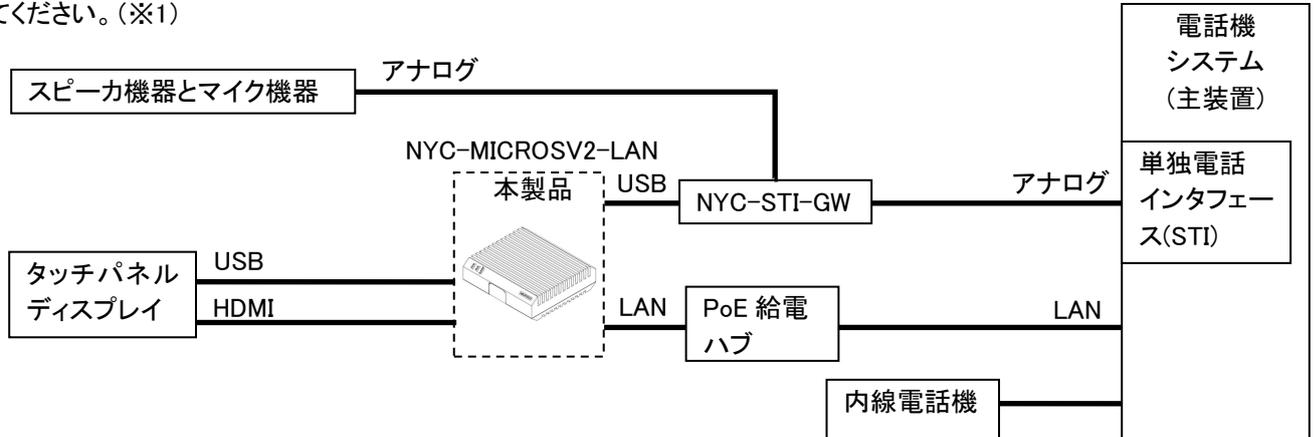
●本製品はカバーを外して使用する機能はありませんので、外さないでください。

4章. 動作確認

本章を実施する前に、本書の「2章. 設置準備 ●設置工事の手順」をご確認ください。

●動作確認(来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話をする場合)

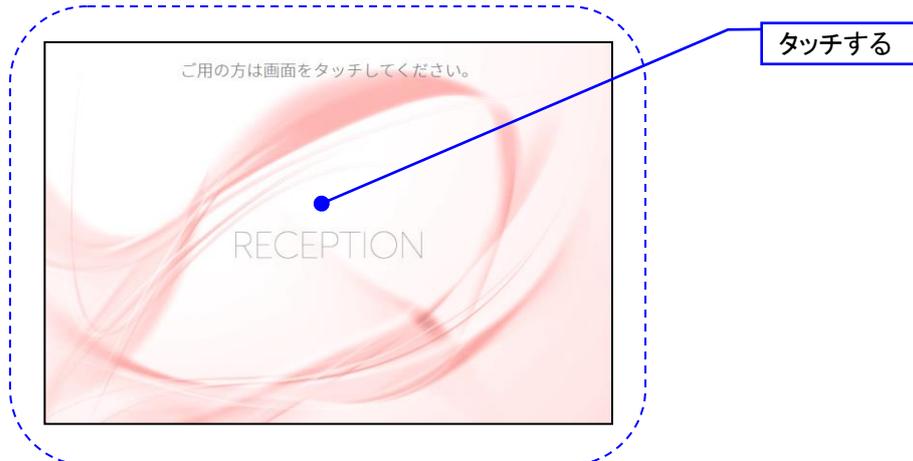
下図の構成で、タッチパネルディスプレイをタッチ操作して、スピーカ機器とマイク機器で内線電話機と通話できることを確認してください。(※1)



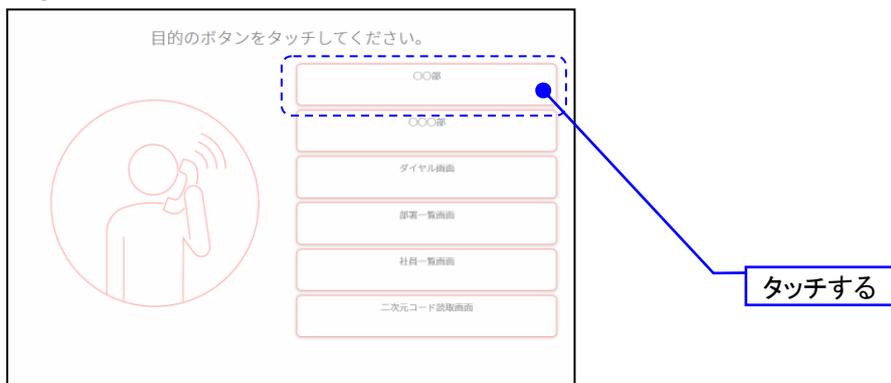
7

●受付アプリケーションで発信操作をする。

手順① 待機画面をタッチします。



手順② 作成した任意のボタン(※2)をタッチします。



おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの保守設定画面から、「一般設定」-「制御機器設定」-「STI-GW+マイク・スピーカ」に設定します。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※2)動作確認の前に、受付アプリケーションの「ボタン設定」を設定しておく必要があります。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。

2

●受付側スピーカ機器・マイク機器と内線電話機の間で通話ができることを確認する。

手順① 発信操作後に下記の画面になることを確認します。

スピーカ機器から呼出音(トゥルルルル)が聴取できることを確認します。

また呼び出し先の内線電話機が着信鳴動することを確認し、内線電話機のハンドセットをとります。



手順② マイク機器に音声を入れ、音声通話が良好であることを確認し、内線電話機のハンドセットを置いて終話します。

スピーカ機器



マイク機器



音声通話が良好であることを確認します。

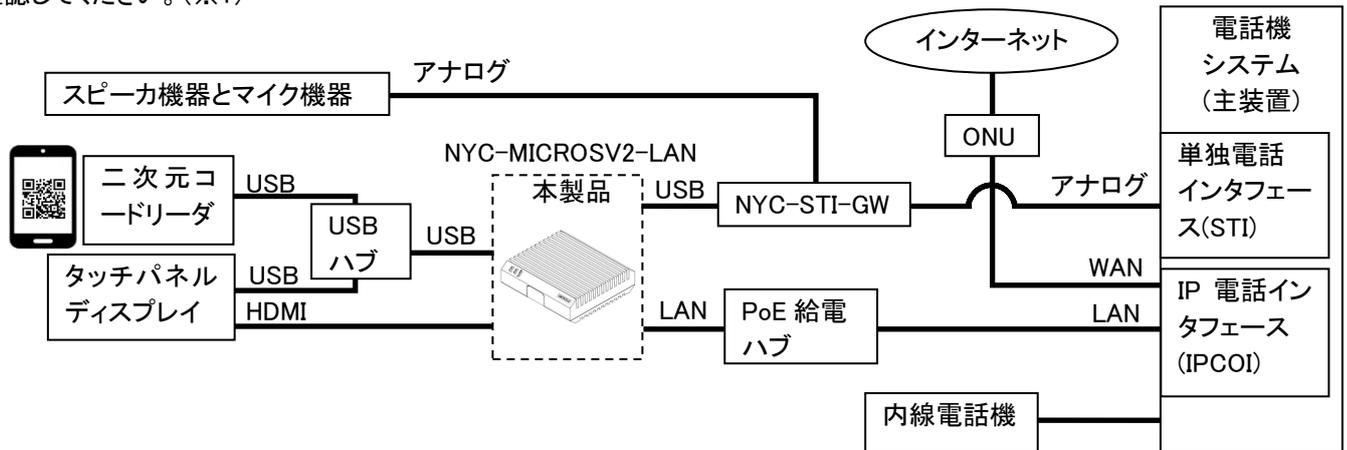


おねがい

- あらかじめ、電話機システムの電話機が使用可能なことを確認しておく必要があります。詳細は、電話機システムの取扱説明書、工事・保守マニュアルを参照してください。
- アナログ電話機を使用する場合の動作確認は、「NYC-STI-GW 工事説明書」を参照してください。
- 発信できないなどの不都合がある場合は、本書の「付録 ●トラブルシューティング」を参照してください。

●動作確認(来訪者が二次元コードをかざして音声通話をする場合)

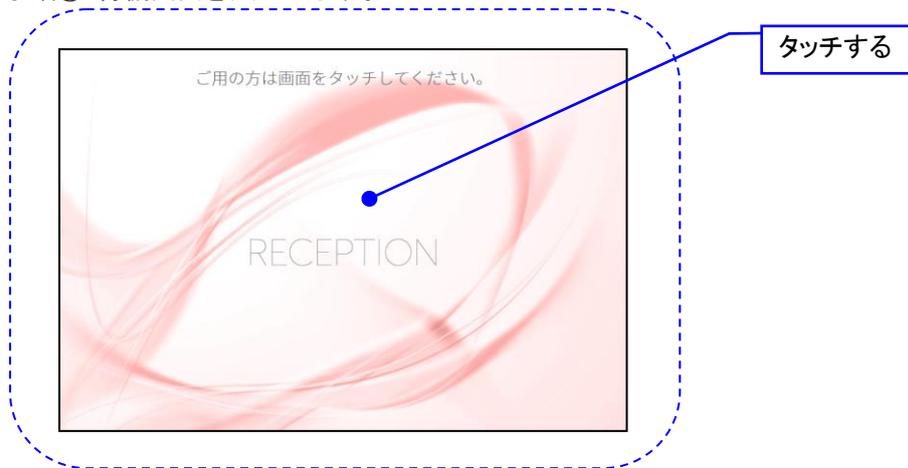
下図の構成で、二次元コードリーダーに二次元コードをかざして、スピーカ機器とマイク機器で内線電話機と通話できることを確認してください。(※1)



7

●受付アプリケーションで二次元コードを読み取る操作をする。

手順① 待機画面をタッチします。



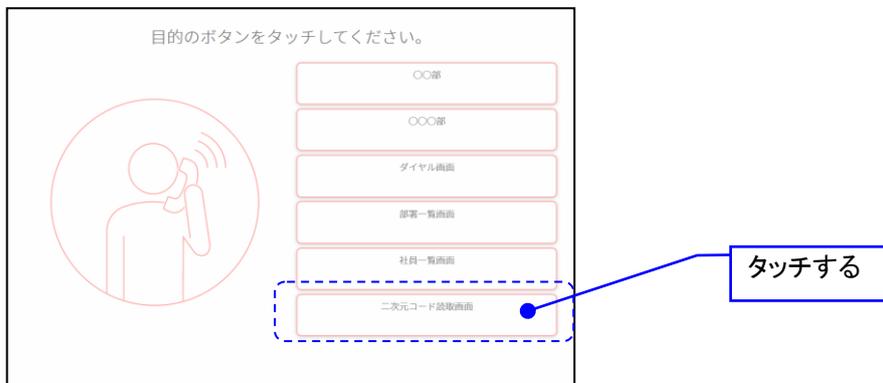
おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの保守設定画面から、「一般設定」-「制御機器設定」-「STI-GW+マイク・スピーカ」に設定します。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。

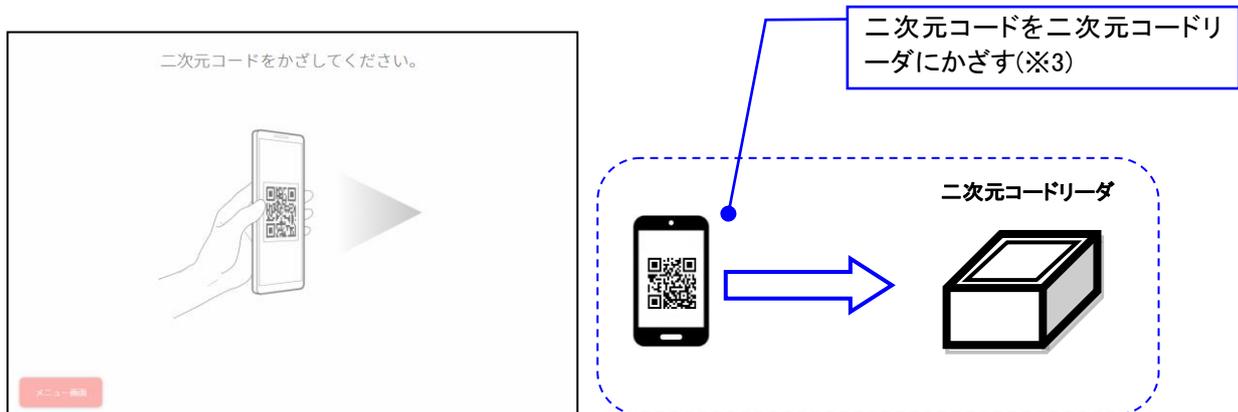
7

●受付アプリケーションで二次元コードを読み取る操作をする。

手順② 二次元コード読取画面ボタン(※1)をタッチします。



手順③ 事前に発行した二次元コードを二次元コードリーダーにかざします。
二次元コードの読み取りが終わると、自動で照合を開始します。(※2)



おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの「ボタン設定」を設定しておく必要があります。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※2)二次元コード発行時の設定により、照合完了後の画面が多少異なる場合があります。詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。
- (※3)動作確認の前に、あらかじめ二次元コードを発行しておく必要があります。詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。

2

●受付側スピーカ機器・マイク機器と内線電話機の間で通話ができることを確認する。

- 手順① 発信操作後に下記の画面になることを確認します。
 スピーカ機器から呼出音(トゥルルルル)が聴取できることを確認します。
 また呼び出し先の内線電話機が着信鳴動することを確認し、内線電話機のハンドセットをとりず。



- 手順② マイク機器に音声を入れ、音声通話が良好であることを確認し、内線電話機のハンドセットを置いて終話します。

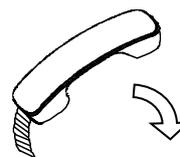
スピーカ機器



マイク機器



音声通話が良好である
 ことを確認します。

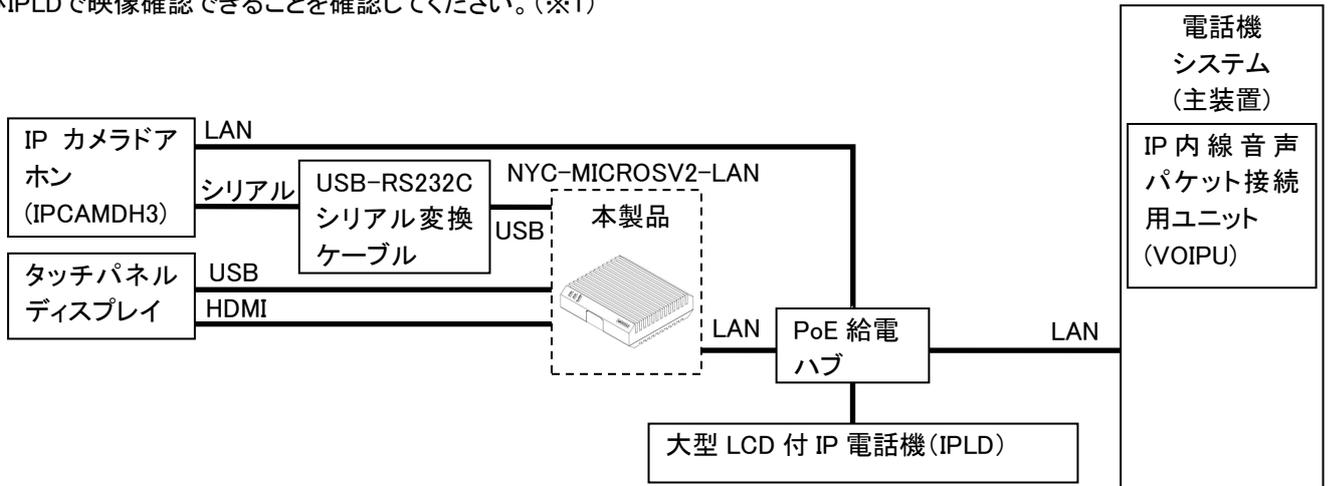


おねがい

- あらかじめ、電話機システムの電話機が使用可能なことを確認しておく必要があります。詳細は、電話機システムの取扱説明書、工事・保守マニュアルを参照してください。
- アナログ電話機を使用する場合の動作確認は、「NYC-STI-GW 工事説明書」を参照してください。
- 発信できないなどの不都合がある場合は、本書の「付録 ●トラブルシューティング」を参照してください。

●動作確認(来訪者がタッチパネルディスプレイ操作をして音声通話と映像送信をする場合)

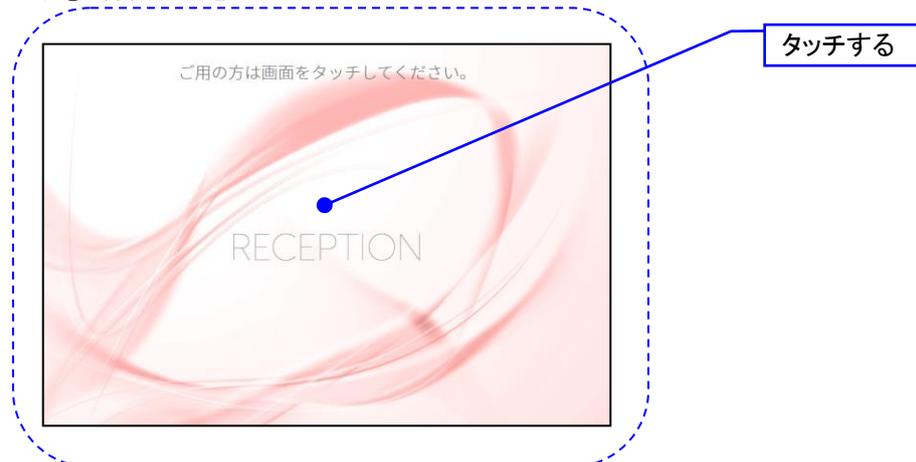
下図の構成で、タッチパネルディスプレイをタッチ操作して、IPカメラドアホンが大型LCD付IP電話機(IPLD)と通話できると及びIPLDで映像確認できることを確認してください。(※1)



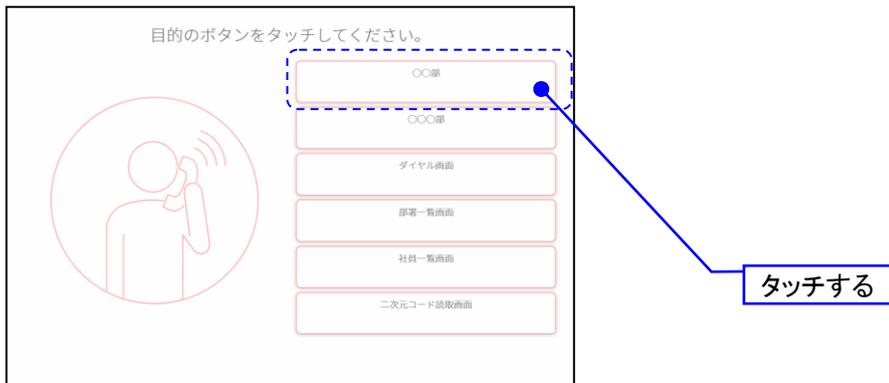
7

●受付アプリケーションで発信操作をする。

手順① 待機画面をタッチします。



手順② 作成した任意のボタン(※2)をタッチします。



おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの保守設定画面から、「一般設定」-「制御機器設定」-「IPカメラドアホン」に設定します。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※2)動作確認の前に、受付アプリケーションの「ボタン設定」を設定しておく必要があります。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。

2

●受付側IPカメラドアホンとIPLDの間で通話ができることを確認する。

手順① 発信操作後に下記の画面になることを確認します。

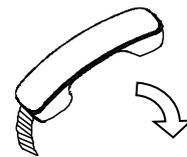
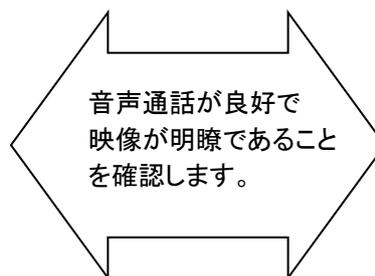
IPカメラドアホンのLED(呼出ボタン)が点滅することを確認します。(※1)

また呼び出し先のIPLDが着信鳴動することを確認し、IPLDのハンドセットをとります。



手順② IPカメラドアホンに音声を入れ、音声通話が良いであることを確認します。

また、IPLDの画面でIPカメラドアホンの映像を確認し、IPLDのハンドセットを置いて終話します。

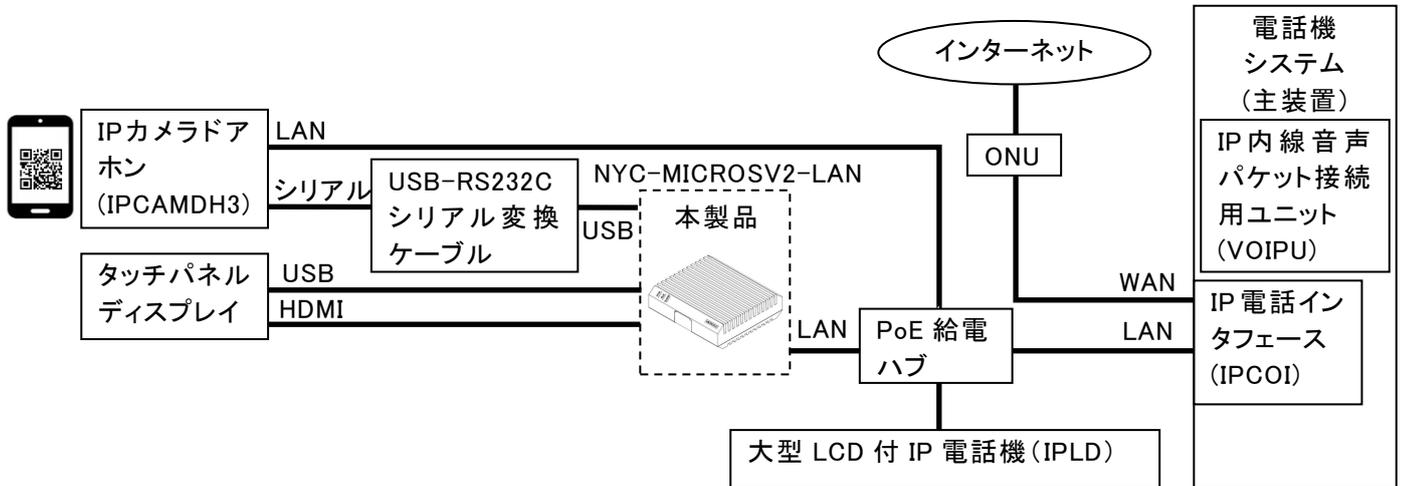


おねがい

- (※1) IPカメラドアホンから呼出音(トゥルルルル)は鳴りません。LEDの点滅が呼出中を表しています。
- あらかじめ、電話機システムの電話機が使用可能なことを確認しておく必要があります。
詳細は、電話機システムの取扱説明書、工事・保守マニュアルを参照してください。
- 発信できないなどの不都合がある場合は、本書の「付録 ●トラブルシューティング」を参照してください。

●動作確認(来訪者が二次元コードをかざして音声通話と映像送信をする場合)

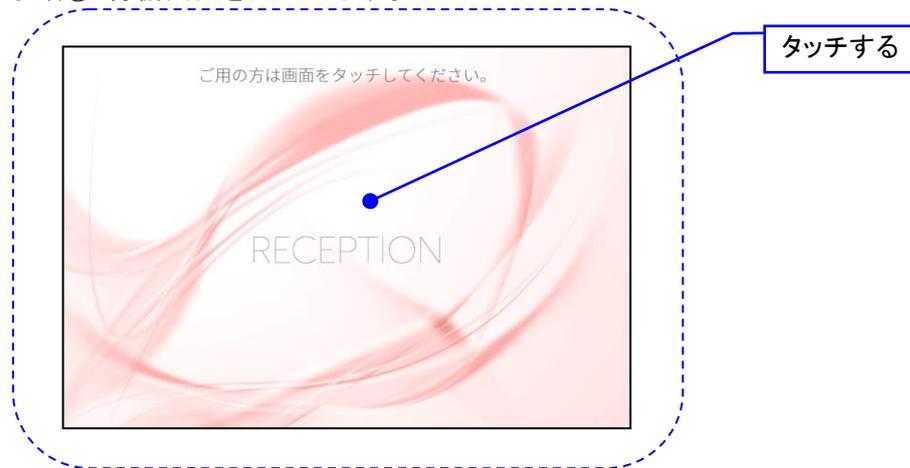
下図の構成で、IPカメラドアホンに二次元コードをかざして、IPカメラドアホンが大型LCD付IP電話機 (IPLD) と通話できること及びIPLDで映像確認できることを確認してください。(※1)



7

●受付アプリケーションで二次元コードを読み取る操作をする。

手順① 待機画面をタッチします。



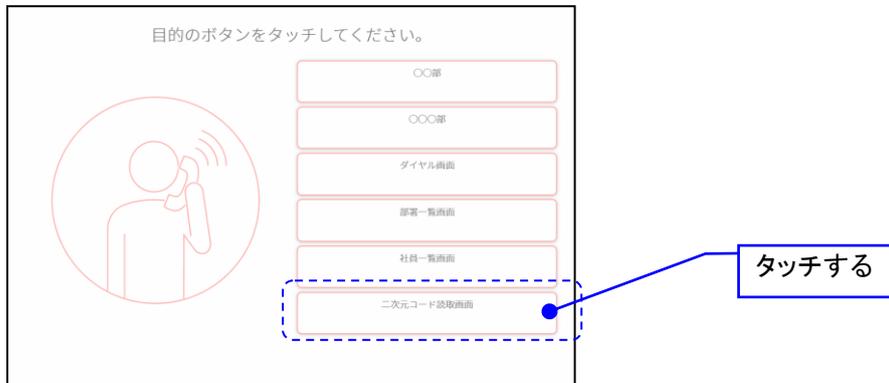
おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの保守設定画面から、「一般設定」-「制御機器設定」-「IPカメラドアホン」に設定します。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。

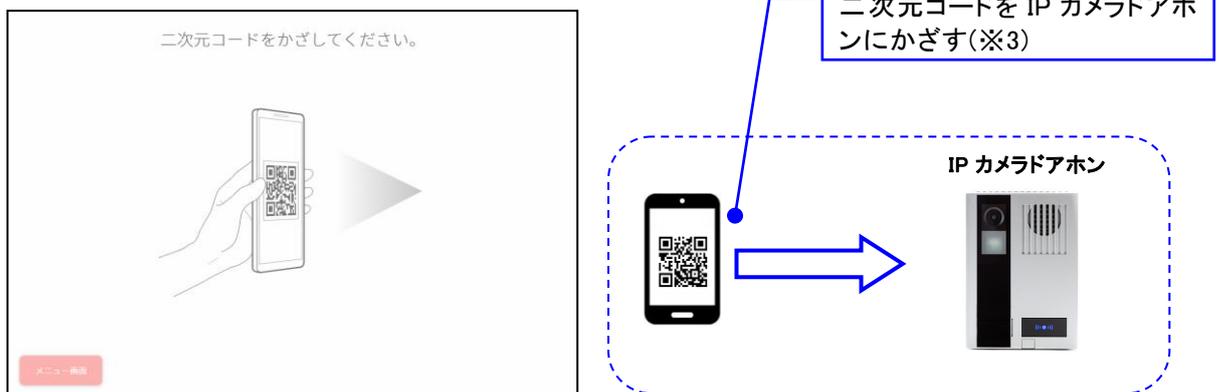
7

● 受付アプリケーションで二次元コードを読み取る操作をする。

手順② 二次元コード読取画面ボタン(※1)をタッチします。



手順③ 事前に発行した二次元コードをIPカメラドアホンにかざします。
二次元コードの読み取りが終わると、自動で照合を開始します。(※2)



おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの「ボタン設定」を設定しておく必要があります。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※2)二次元コード発行時の設定により、照合完了後の画面が多少異なる場合があります。詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。
- (※3)動作確認の前に、あらかじめ二次元コードを発行しておく必要があります。詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。

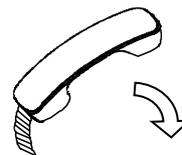
2

●受付側IPカメラドアホンとIPLDの間で通話ができることを確認する。

- 手順① 発信操作後に下記の画面になることを確認します。
 IPカメラドアホンのLED(呼出ボタン)が点滅することを確認します。(※1)
 また呼び出し先のIPLDが着信鳴動することを確認し、IPLDのハンドセットをとります。



- 手順② IPカメラドアホンに音声を入れ、音声通話が良いであることを確認します。
 また、IPLDの画面でIPカメラドアホンの映像を確認し、IPLDのハンドセットを置いて終話します。



おねがい

- (※1) IPカメラドアホンから呼出音(トゥルルルル)は鳴りません。LEDの点滅が呼出中を表しています。
- あらかじめ、電話機システムの電話機が使用可能なことを確認しておく必要があります。
 詳細は、電話機システムの取扱説明書、工事・保守マニュアルを参照してください。
- 発信できないなどの不都合がある場合は、本書の「付録 ●トラブルシューティング」を参照してください。

●動作確認(接点制御機器)

本製品の無電圧接点出力端子および外部接点機器の動作確認を下記手順で行ってください。
本製品の無電圧接点出力端子を使用する場合、下記の手順1の手順②③は不要です。

1

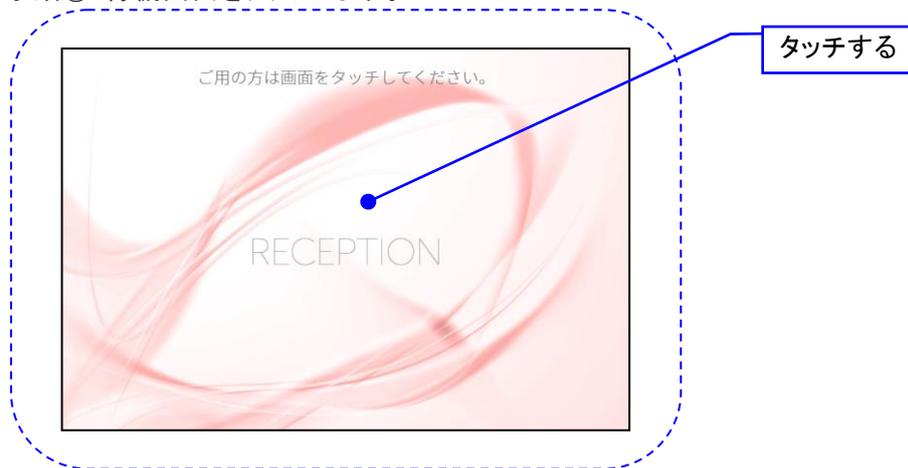
●接点制御の接続設定を行う。

- 手順① 接点制御する機器の割当がされているか、弊社営業にご確認ください。
- 手順② 外部接点機器を使用する場合は、本製品に合わせたIPアドレスを手動設定します。(※1)
(例)192.168.1.150
- 手順③ 設定した外部接点機器のIPアドレスを、弊社営業へお伝えください。
- 手順④ 接点制御を有効にした二次元コードを発行します。(※2)

2

●受付アプリケーションで二次元コードを読み取る操作をする。

- 手順① 待機画面をタッチします。



おねがい

- (※1)外部接点機器の詳細は、外部接点機器のマニュアルを参照してください。
- (※2)二次元コードの発行方法は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。接点制御の動作確認をする場合、二次元コードの登録内容を「呼出番号の登録なし」「制御機器の登録あり」にして二次元コードを発行することで、接点制御の確認をすることができます。呼出番号の登録があると、接点制御の確認をすることができません。(※3)
- 本製品の接点仕様はA接点です。外部機器が必要とする接点仕様がB接点やC接点の場合は、外部接点機器(ETH008-B)をお使いください。

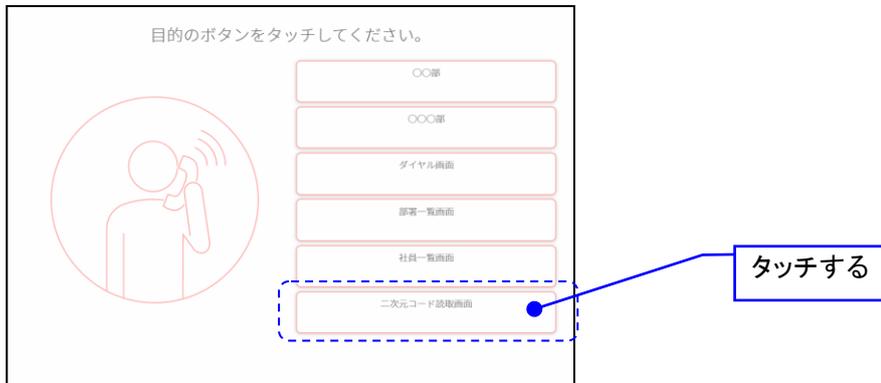
おしらせ

- (※3)二次元コードは、セキュリティ上の都合で、呼出用の二次元コードと接点制御用の二次元コードが独立しています。お客様による通常利用においても、接点制御を使用する場合の二次元コードを発行する必要があります。詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。

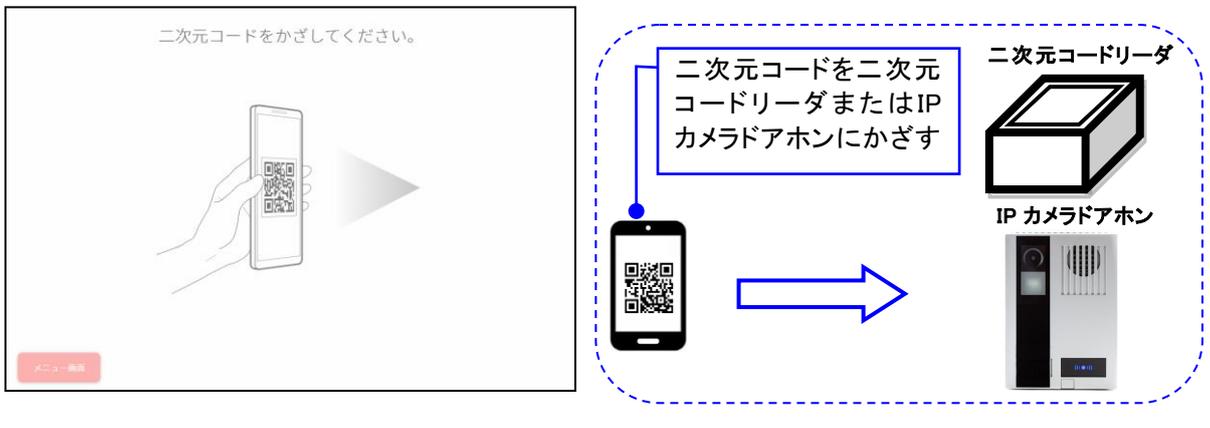
2

●受付アプリケーションで二次元コードを読み取る操作をする。

手順② 二次元コード読取画面ボタン(※1)をタッチします。



手順③ 事前に発行した二次元コードを二次元コードリーダーまたはIPカメラドアホンにかざします。
二次元コードの読み取りが終わると、自動で照合を開始します。(※2)



3

●接点制御ができているか確認する。

手順① 下記の画面が表示されますので本製品の無電圧接点出力端子または外部接点機器の接点制御ができているか確認します。(本製品または外部接点機器から「カチッ」と音が鳴れば、接点制御の確認は終了です。お使いの外部機器に応じて制御時間などを調整してください。)



おねがい

- (※1)動作確認の前に、受付アプリケーションの「ボタン設定」を設定しておく必要があります。詳細は、受付アプリケーションの「NYC Reception APP MS 取扱説明書」を参照してください。
- (※2)二次元コード発行時の設定により、照合完了後の画面が多少異なる場合があります。詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。

5章. 基本設定

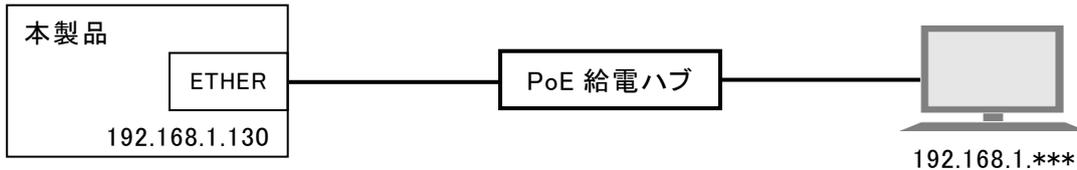
●パソコンとの接続方法

下図のように本製品にパソコンを接続し、指定のWebブラウザ(Microsoft Edge、Google Chrome)を使って、「http://(本製品IPアドレス):(本製品のポート番号)」にログインしてください。

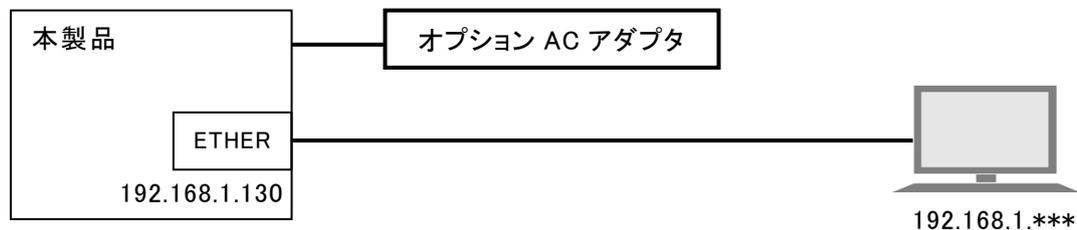
※本製品のポート番号は「58000」です。

本製品のIPアドレスが初期値の場合 http://192.168.1.130:58000

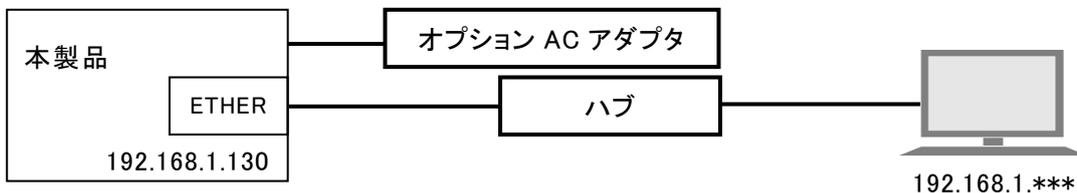
<パソコンをPoE給電ハブ経由で接続する場合>



<パソコンを直接接続する場合>



<パソコンをハブ経由で接続する場合>



おねがい

- 保守作業等に使用するパソコン(保守PC)の条件は、本書の「1章. ご利用の前に」の「使用するパソコンの条件」を参照してください。
- 保守PCのIPアドレスは本製品と異なる値で「192.168.1.***」(***は0、130、255以外の値)に設定し、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定してください。本製品のIPアドレスと同一のセグメントに設定します。
- 本製品のIPアドレスを初期値から変更する場合、保守PCのIPアドレスは、本製品のIPアドレスと異なるIPアドレスを設定してください。
- 複数の保守PCでの同時設定はサポートしていません。本製品の設定変更は、1台の保守PCから実施してください。
- 設定したデータは、あとでわかるように本書の「付録 ●Web画面設定一覧」の「設定値記入欄」に記入(印刷後の手書き)することをお勧めします。

おしらせ

- 本書ではEdgeブラウザを使用した画面で説明をしています。

●ログイン方法

ログイン方法について説明します。

7

●保守設定用 PC の Web ブラウザで、本製品の Web 設定にログインする。

手順① Web ブラウザで 192.168.1.130:58000 を入力し、本製品の Web ログイン画面を表示します。



アドレスを入力する

手順② ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします。

※初期値のユーザー名 : admin

パスワード : admin

A screenshot of a login page. The page title is "このサイトにアクセスするにはサインインしてください". Below the title, there is a warning message: "http://192.168.1.130:58000 では認証が必要となります このサイトへの接続は安全ではありません". There are two input fields: "ユーザー名" (User Name) and "パスワード" (Password). Below the fields are two buttons: "サインイン" (Sign In) and "キャンセル" (Cancel). A red box highlights the input fields, and a red callout box points to it with the text "ユーザー名とパスワードを入力する". Another red box highlights the "サインイン" button, and a red callout box points to it with the text "クリックする".

ユーザー名とパスワードを入力する

クリックする

手順③ パスワードが初期値の場合、[サインイン]をクリックした後に下記の画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

表示されないようにするには、「アカウント設定」でパスワードを初期値から変更してください。

A screenshot of a dialog box titled "アカウント確認" (Account Confirmation). The text inside the dialog box reads: "パスワードが初期値のままです。パスワードを変更してください。" (The password is still the default value. Please change the password.) At the bottom right of the dialog box, there is a blue button labeled "OK". A red box highlights the "OK" button, and a red callout box points to it with the text "クリックする".

クリックする

2

● 設定画面を表示する。

ログイン後、設定画面が表示されます。

メインメニュー

マイクロサーバ2

設定反映
ログアウト

- 基本設定
- ネットワーク設定
 - 有線LAN設定
 - プロキシ設定
 - 時刻設定
 - ディスプレイ設定
- アプリケーション設定
- 情報表示
- 保守設定

有線LAN設定

登録

IPアドレス	必須	再入力	192	168	1	130	[半角数字] 各オクテット 0~255
サブネットマスク	必須	再入力	255	255	255	0	[半角数字] 各オクテット 0~255
デフォルトゲートウェイ	再入力						[半角数字] 各オクテット 0~255
DNSサーバアドレス	再入力						[半角数字] 各オクテット 0~255

メインメニューをクリックすると、サブメニューが表示されます。

サブメニュー

- 基本設定
- ネットワーク設定
 - 時刻設定
 - ディスプレイ設定
- アプリケーション設定
- 情報表示
- 保守設定

●ネットワーク設定

・有線LAN設定

有線LANに関する設定を行います。

7

●有線 LAN 設定を選択する。

手順① メインメニューから、[基本設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[ネットワーク設定]→[有線 LAN 設定]をクリックします。



2

●有線 LAN 設定を入力する。

手順① 設定内容を入力します。

The screenshot shows the '有線LAN設定' (Wired LAN Settings) page. On the left is a navigation menu for 'マイクロサーバ2' (Micro Server 2) with options like '設定反映', 'ログアウト', and various settings categories. The main content area is titled '有線LAN設定' and contains a table with the following fields:

項目	値	注釈
IPアドレス	192.168.1.130	[半角数字] 各オクテット 0~255
サブネットマスク	255.255.255.0	[半角数字] 各オクテット 0~255
デフォルトゲートウェイ		[半角数字] 各オクテット 0~255
DNSサーバアドレス		[半角数字] 各オクテット 0~255

A red box highlights the IP address field, and a callout box points to it with the text '値を入力する' (Enter value).

■設定内容

設定項目		概要	設定方法
有線LAN設定	IPアドレス (※1)	本製品のIPアドレスを設定します。 必要に応じて変更してください。	キーボード入力
	サブネット マスク (※1)	本製品のサブネットマスクを設定します。 必要に応じて変更してください。	キーボード入力
	デフォルト ゲートウェイ	本製品が接続されているルータのIPアドレスを 設定します(ルータがある場合)。	キーボード入力
	DNSサーバ アドレス	ご契約のプロバイダより通知されているプライ マリDNSサーバのIPアドレス、またはルータの IPアドレスを設定します。	キーボード入力

(※1)IP アドレスとサブネットマスクは必ず設定してください。

3

●設定を反映する。

手順① [登録]をクリックします。

マイクロサーバ2

設定反映

ログアウト

基本設定

ネットワーク設定

有線LAN設定

有線LAN設定

クリックする

登録

IPアドレス [必須] [再入力] 192 . 168 . 1 . 130 [半角数字] 各オクテット 0~255

サブネットマスク [必須] [再入力] 255 . 255 . 255 . 0 [半角数字] 各オクテット 0~255

デフォルトゲートウェイ [再入力] [半角数字] 各オクテット 0~255

DNSサーバアドレス [再入力] [半角数字] 各オクテット 0~255

手順② 設定を変更して[登録]をクリックすると、下記の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。

設定登録確認

変更された設定内容を登録します。
登録すると元の設定に戻せませんが、よろしいですか?

はい いいえ

クリックする

手順③ 登録が成功すると、下記の画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

登録成功

Webアクセスに関連する設定が変更されました。
設定反映後ログインする場合に新しいアドレスによるアクセスが必要になる可能性があります。

OK

クリックする

手順④ [設定反映]をクリックします。

設定変更後は、設定反映の操作が必要です(「5章.基本設定 設定反映」を参照)。

マイクロサーバ2

設定反映

ログアウト

クリックする

おしらせ

- IPアドレスを変更した場合、変更後のIPアドレスで再度Webログインする必要があります。
- 設定に失敗した場合のエラーメッセージは、本書の「付録 ●Web画面エラーメッセージ一覧」をご確認ください。
- インターネットに接続できない場合は、本書の「付録 ●トラブルシューティング」をご確認ください。

・プロキシ設定

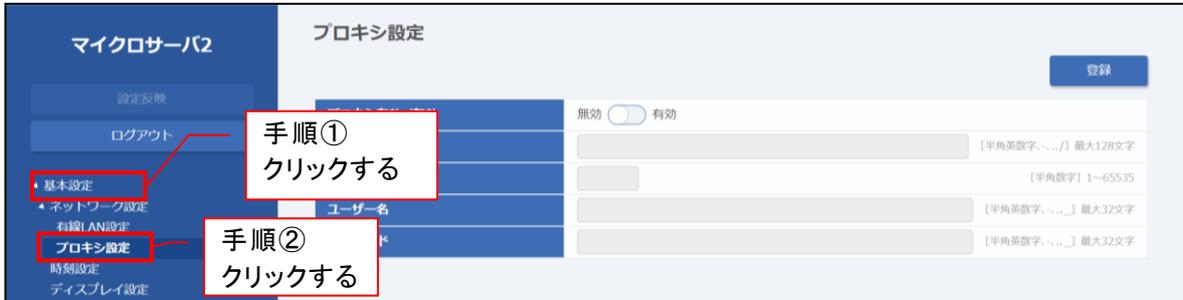
プロキシサーバがある場合、プロキシサーバに関する設定をします。

1

●プロキシ設定を選択する。

手順① メインメニューから、[基本設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[ネットワーク設定]→[プロキシ設定]をクリックします。



2

●プロキシ設定を入力する。

手順① 設定内容を入力します。



■設定内容

設定項目	概要	設定方法	
プロキシ設定	プロキシ有効/無効	プロキシサーバを使う場合は「有効」に、使わない場合は「無効」に設定します。	トグルスイッチ
	サーバアドレス(※1)(※2)	プロキシサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。	キーボード入力
	ポート番号(※1)(※2)	プロキシサーバのポート番号を設定します。	キーボード入力
	ユーザー名(※1)	ユーザー認証が必要なプロキシサーバの場合に、ユーザー名を設定します。	キーボード入力
	パスワード(※1)	ユーザー認証が必要なプロキシサーバの場合に、パスワードを設定します。	キーボード入力

(※1)「プロキシ有効/無効」が「有効」のときのみ設定できます。

(※2)「プロキシ有効/無効」を「有効」にした場合、「サーバアドレス」と「ポート番号」は必ず設定してください。

お知らせ

●使用できる認証方式は、Basic認証(基本認証)のみです。

3

●設定を反映する。

手順① [登録]をクリックします。

The screenshot shows the 'プロキシ設定' (Proxy Settings) page. On the left is a sidebar for 'マイクロサーバ2' (Microserver 2) with options like '設定反映' (Apply Settings) and 'ログアウト' (Logout). The main area contains proxy configuration fields: 'プロキシ有効/無効' (Proxy On/Off) with a toggle switch, 'サーバアドレス' (Server Address), 'ポート番号' (Port Number), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). The '登録' (Register) button is highlighted with a red box, and a callout 'クリックする' (Click here) points to it.

手順② [設定反映]をクリックします。

設定変更後は、設定反映の操作が必要です(「5章.基本設定 設定反映」を参照)。



2

●時刻設定をする。

手順① 設定内容を入力します。

■設定内容

設定項目		概要	設定方法
自動時刻設定	時刻自動取得	NTPを使用した時刻自動取得の有効/無効を設定します。	トグルスイッチ
	NTPサーバアドレス (※1)	NTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。	キーボード入力
手動時刻設定	現在時刻取得	「年月日」、「時分秒」のスピンドボタン付きテキストボックス(数値入力)に現在の時刻(年月日時分秒)が入力されます。	ボタン
	指定時刻反映	「年月日」、「時分秒」のスピンドボタン付きテキストボックス(数値入力)に設定したい時刻を入力し、[指定時刻反映]ボタンをクリックすると値が反映されます。	キーボード入力 ボタン
	PC時刻取得・反映	[PC時刻取得・反映]ボタンのクリックで設定用のPCの時刻を反映します。	ボタン
	年月日	設定したい時刻の年月日を入力します。	キーボード入力
	時分秒	設定したい時刻の時分秒を入力します。	キーボード入力

(※1)NTP サーバアドレスは時刻自動取得が有効時は必ず設定してください。

3

● 設定を反映する。

手順① [登録]をクリックします。

時刻設定

自動時刻設定

時刻自動取得 無効 有効

NTPサーバアドレス 【半角英数字、-】 最大253文字

手動時刻設定

現在時刻取得 指定時刻反映 PC時刻取得・反映

年月日 年 月 日 2023年1月1日～2037年12月31日

時分秒 時 分 秒 0時0分0秒～23時59分59秒

※時刻自動取得が動作中は手動時刻設定はできません。
手動時刻設定する場合は、時刻自動取得を無効にして、設定反映後に実施してください。

手順② [登録]をクリックすると、下記の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。

設定登録確認

変更された設定内容を登録します。
登録すると元の設定に戻せませんが、よろしいですか？

手順③ [設定反映]をクリックします。

設定変更後は、設定反映の操作が必要です(「5章.基本設定 設定反映」を参照)。

マイクロサーバ2

お知らせ

● 本製品は、システム時刻を正しく設定しないと使用または運用できません。

時刻同期を行う方法は下記の2つとなります。

- (1) NTPサーバと通信して時刻同期をする
- (2) 手動で時刻を設定する

運用する場合は、正確な時刻とするため(1)の方法をお勧めします。インターネット環境があれば、インターネットにあるNTPサーバと時刻同期することができます。

また、本製品の同じネットワーク(LAN)内にNTPサーバを用意することで、ローカルネットワーク環境でも時刻同期することができます。

●ディスプレイ設定

本製品のディスプレイ(映像出力)に関する設定を行います。

1

●ディスプレイ設定を選択する。

手順① メインメニューから、[基本設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[ディスプレイ設定]をクリックします。



2

●ディスプレイ設定を入力する。

手順① 設定内容を選択します。



■設定内容

設定項目	概要	設定方法
解像度	ディスプレイへ表示する際の解像度 (VGA(640 × 480)/SDTV(720 × 480)/XGA(1024 × 768)/HDTV(1280 × 720)/FHD(1920 × 1080))を設定します。	プルダウンメニュー
画面の向き	ディスプレイへ表示する際の向き (通常/90度回転/180度回転/270度回転)を設定します。	プルダウンメニュー

おねがい

●受付アプリケーションを使用する際は、解像度の設定を以下のいずれかに設定してください。

XGA (1024×768)

SDTV (720×480)

VGA (640×480)

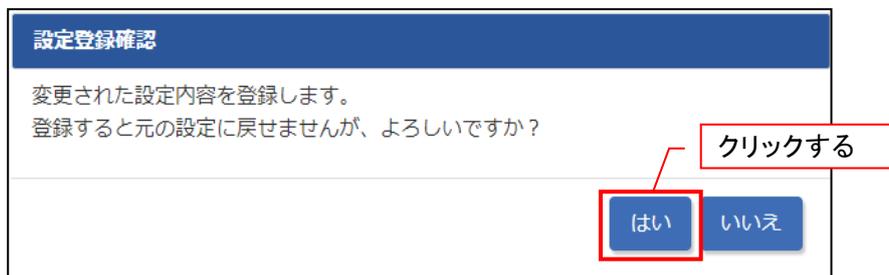
3

●設定を反映する。

手順① [登録]をクリックします。



手順② [登録]をクリックすると、下記の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。



手順③ [設定反映]をクリックします。

設定変更後は、設定反映の操作が必要です(「5章.基本設定 設定反映」を参照)。



● 設定反映

登録された設定値を反映するために設定反映の操作を行います。

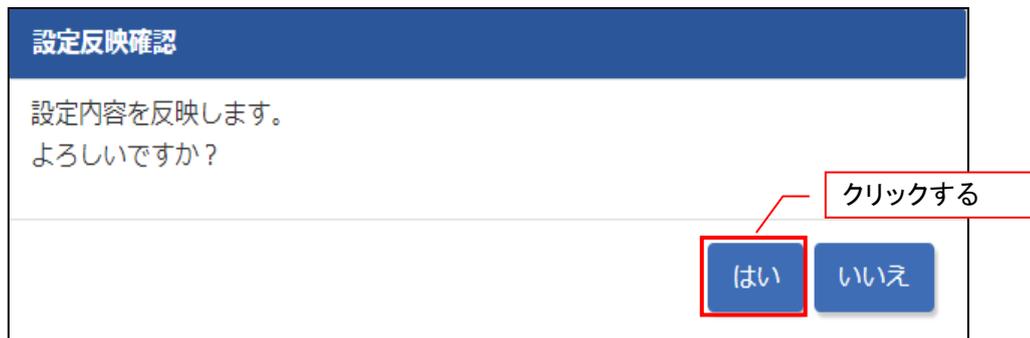
7

● 設定を反映する。

手順① 設定画面の[設定反映]をクリックします。(※1)



手順② 設定反映確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
やめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



おしらせ

●(※1) 設定を反映せずにブラウザを閉じると、登録した設定が反映されません。

2

●設定反映が開始される。

設定反映中の画面が表示されます。



手順① 再起動が必要な場合は下記の画面が表示されるので、[OK]をクリックして再起動します。



再起動中は下記の画面が表示されます。



1～2分待つと、再起動が完了して元の画面(手順1の画面表示)に戻ります。

おしらせ

- 設定反映は、数分かかる場合があります。
- 設定を変更したら、必ず設定反映してからブラウザを閉じてください。アプリケーションの動作が異常になる場合があります。
- 「有線LAN設定」や「インポート」で本製品のIPアドレスを変更すると、再起動後に元の設定画面には戻りません。変更後のIPアドレスで再度ログインしてください(5章.基本設定 ログイン方法を参照)。

6章. アプリケーション設定

●インストール

本製品にアプリケーションをインストールします。

7

●インストールを選択する。

手順① メインメニューから、[アプリケーション設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[インストール]をクリックします。



2

●インストールするファイルを選択する。

手順① [ファイルの選択]をクリックして、ファイルを選択します。(※1)(※2)



おねがい

●インストールファイル(zipファイル)のファイル名やファイルの内容を変更しないでください。ファイルが読み込めない場合があります。

おしらせ

- (※1)ファイルを選択する箇所のボタンや表示文言は、ブラウザにより異なります。ファイルを選択すると、参照先が表示されます。
- (※2)受付アプリケーションをインストールする場合には本書の「2章. 設置準備 ●受付アプリケーションのインストール」を参照してください。

3

●アプリケーションをインストールする。

手順① [インストール]をクリックします。



4

●インストールを確認する。

手順① インストールの確認画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
やめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。

お知らせ

- お使いのPCによって、「アプリケーションインストール確認」の画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

5

●インストールを完了する。

手順① インストール中→インストール成功画面になるので、[OK]をクリックします。



「<再起動中>」の画面が表示されます。



1~2分待つと、再起動が完了して「インストール」の画面に戻ります。
元の画面に戻らず下記の表示になることがあります。
この場合は、約1分待つってから画面を更新してください。



おねがい

- インストールに失敗した場合はポップアップが表示されます。
[OK]をクリックしてインストールを中止し、インストールファイルが正しいかなどを確認してください。

●アンインストール

本製品にインストールしたアプリケーションをアンインストールします。

1

●アンインストールを選択する。

手順① メインメニューから、[アプリケーション設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[アンインストール]をクリックします。

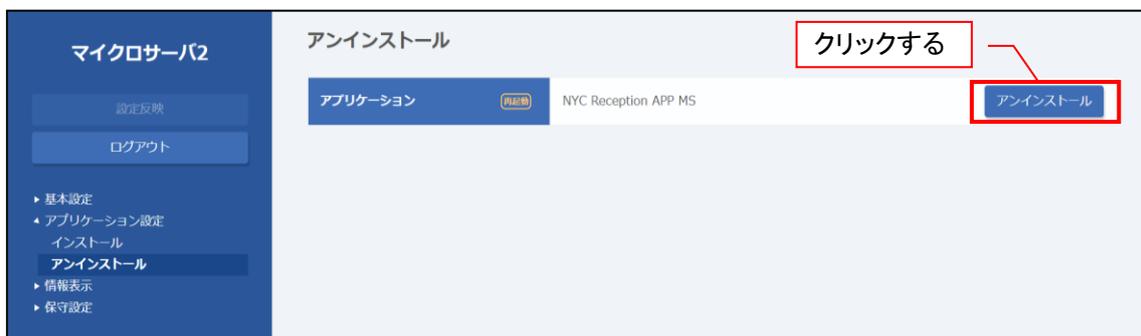


2

●アンインストールする。

手順① [アンインストール]をクリックします。

アプリケーションがインストールされていない場合、[アンインストール]はクリックできません。



おしらせ

●アンインストールすると、再インストール後の使用時に再度ライセンス入力が必要となります。

3 ●アンインストールを確認する。

手順① アプリケーションアンインストール確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
やめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



4 ●アンインストールを完了する。

手順① アンインストール中→アンインストール成功画面になるので、[OK]をクリックします。



「<再起動中>」の画面が表示されます。



1~2分待つと、再起動が完了して「アンインストール」の画面に戻ります。
元の画面に戻らず下記の表示になるとことがあります。
この場合は、約1分待つてから画面を更新してください。



おねがい

●アンインストールに失敗した場合はポップアップが表示されます。[OK]をクリックしてアンインストールを中止し、リカバリ機能を実施してください。リカバリ機能の詳細は、本書の「付録 ●MODE SWITCH の機能詳細」を参照してください。

7章. 情報表示

● 状態表示

本製品の設定内容および状態を確認することができます。

7

● 本製品の設定内容及び状態を表示する。

手順① メインメニューから、[情報表示]をクリックします。

手順② サブメニューから、[状態表示]をクリックします。

状態表示	
ファームウェアバージョン	1.0.00
状態	アプリケーション未インストール
有線LAN	MACアドレス XX:XX:XX:XX:XX:XX
	IPアドレス 192.168.1.130
	サブネットマスク 255.255.255.0
有線LAN設定	IPアドレス 192.168.1.130
	サブネットマスク 255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ 192.168.1.1
	DNSサーバアドレス
	有効/無効 無効
プロキシ設定	サーバアドレス
	ポート番号
	ユーザー名
	パスワード
時刻設定	時刻自動取得 無効
	NTPアドレス ntp.nict.jp
	解像度 VGA(640×480)

●ライセンス表示

本製品で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

7

●本製品で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示する。

手順① メインメニューから、[情報表示]をクリックします。

手順② サブメニューから、[ライセンス表示]をクリックします。

補足: 絞り込み検索の入力欄に絞り込みたいキーワード入力することで絞り込み検索することができます。

分類	ソフトウェア名称	バージョン	ライセンス
	apbox/node-pre-gyp	1.0.9	BSD-3-Clause
	delib/fs.scandir	2.1.5	MIT
	delib/fs.stat	2.0.5	MIT
	delib/fs.walk	1.2.8	MIT
	Stream	1.3.5	MIT
	v	1.1.1	ISC
	node.js accepts	1.3.8	MIT
	node.js agent-base	4.2.1	MIT
	node.js agent-base	4.3.0	MIT
	node.js agent-base	6.0.2	MIT
	node.js agentkeepalive	3.5.2	MIT
	node.js aggregate-error	3.1.0	MIT
	node.js ajv	6.12.6	MIT
	node.js ansi-align	2.0.0	ISC
	node.js ansi-regex	2.1.1	MIT

手順③ 詳細表示したいライセンスの詳細ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

手順④ [OK]をクリックすると、画面が閉じます。

```

node.js/bcrypt/node_modules/@mapbox/node-pre-gyp/LICENSE

Copyright (c), Mapbox
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
are permitted provided that the following conditions are set:

  * Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
    this list of conditions and the following disclaimer.
  * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,
    this list of conditions and the following disclaimer in the documentation
    and/or other materials provided with the distribution.
  * Neither the name of node-pre-gyp nor the names of its contributors
    may be used to endorse or promote products derived from this software
    without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS
"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF
LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
  
```

クリックする

8章. 保守設定

●アカウント設定

Web設定にログインするためのアカウント(ユーザー名とパスワード)を変更します。

7

●アカウント設定を選択する。

手順① メインメニューから、[保守設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[アカウント設定]をクリックします。



2

●アカウント設定を入力する。

手順① 設定内容を入力します。

手順② [登録・反映]をクリックします。

■設定内容

設定項目	概要	設定方法
ユーザー名	新しいユーザー名を設定します。	キーボード入力
パスワード	現在(変更前)のパスワードを入力します。	キーボード入力
新パスワード	新しい(変更後)パスワードを設定します。	キーボード入力
新パスワード(再入力)	新しい(変更後)パスワードをもう一度入力します。 必ず新パスワードと同じ文字を入力してください。	キーボード入力

※各設定項目は必ず入力してください。

おしらせ

- 新しいユーザー名・パスワードを有効にするには、[登録・反映]をクリックする必要があります。
- [登録・反映]をクリックすると変更したユーザー名とパスワードで再度Webログインする必要があります。
- 「IPデフォルト設定」(「付録 ●MODE SWITCHの機能詳細」参照)で起動した場合は、ユーザー名「admin」、パスワード「1111」になります。

3

●設定登録を確認する。

手順① 下記の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。

設定登録確認

変更されたアカウント設定を登録・反映します。
登録・反映すると元のアカウント設定に戻せませんが、よろしいですか？

クリックする

はい いいえ

4

●再度 Web ログインする。

手順① 認証画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします。再度 Web ログインすると、「アカウント設定」画面に戻ります。(※1)

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.1.130:58000 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

サインイン キャンセル

ユーザー名とパスワードを入力する

クリックする

おねがい

- (※1)必ず変更後のユーザー名とパスワードを入力してください。入力の際には、大文字と小文字を区別してください。

●インポート

本製品でエクスポートした設定データ(設定ファイル)をインポートします。

1

●インポートを選択する。

手順① メインメニューから、[保守設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、「インポート」をクリックします。



2

●インポートするファイルを選択する。

手順① [ファイルの選択]をクリックし、インポートするファイルを選択します。(※1)



おしらせ

●(※1)ファイルを選択する箇所のボタンや表示文言は、ブラウザにより異なります。ファイルを選択すると、参照先が表示されます。

3

●インポートを開始する。

手順① [インポート]をクリックします。

手順② ポップアップが表示されるので、[はい]をクリックする。



4

●インポートを完了する。

手順① 下記の画面が表示されるので、[OK]をクリックします。
[OK]をクリックすると、「インポート」の画面に戻ります。



手順② [設定反映]をクリックします。

設定変更後は、設定反映の操作が必要です(「5章.基本設定 設定反映」を参照)。



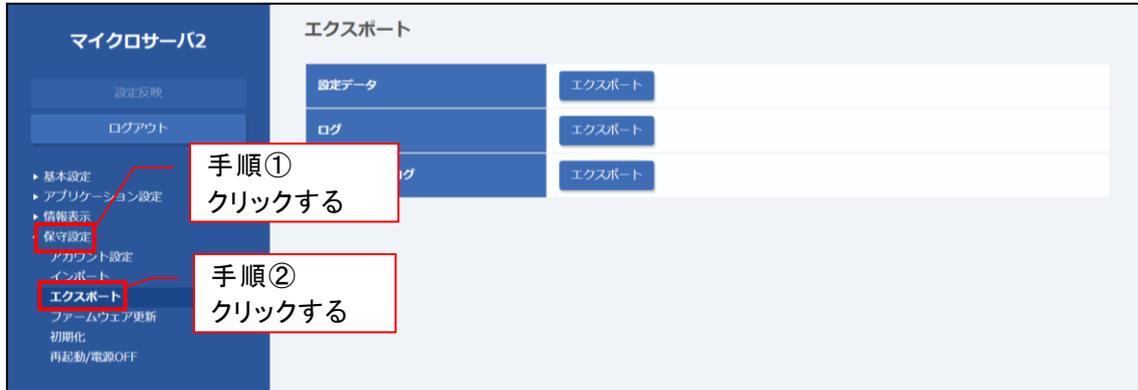
●エクスポート

本製品の設定データ(設定ファイル)やログを保守PCに保存します。

7

●エクスポートを選択する。

- 手順① メインメニューから、[保守設定]をクリックします。
 手順② サブメニューから、[エクスポート]をクリックします。



2

●エクスポートするデータを選択する。

- 手順① [エクスポート]ボタンをクリックします。



■エクスポート内容

エクスポート項目	概要	エクスポート ファイル拡張子
設定データ	本製品に適用されている設定をエクスポートします。	.bin
ログ	本製品のログをエクスポートします。	.zip
設定データ+ログ	本製品に適用されている設定と、ログをエクスポートします。	.zip

■エクスポートファイル構成

エクスポート項目	エクスポート項目名_(年)(月)(日)(時)(分)(秒).拡張子
設定データ	dataset_yyyyMMddhhmmss.bin
ログ	log_yyyyMMddhhmmss.zip
設定データ+ログ	dataset+log_yyyyMMddhhmmss.zip

(例) 2023年5月16日8時20分11秒に「設定データ+ログ」をエクスポートした場合は、次のファイル名になります。

「dataset+log_20230516082011.zip」

3

●エクスポートを確認する。

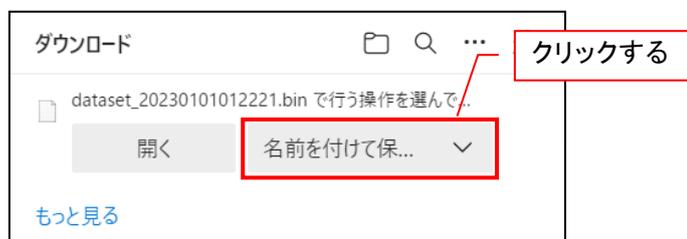
手順① エクスポート確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。



4

●エクスポートデータを保存する。

手順① ブラウザの指示にしたがってファイルを保守 PC に保存します。(※1)



おしらせ

●(※1)保存の方法や画面は、ブラウザにより異なります。

●ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新します。

最新のファームウェアがある場合は自動でファームウェアを更新する設定をすることができます。

1

●ファームウェア更新を選択する。

手順① メインメニューから、[保守設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[ファームウェア更新]をクリックします。



2

●ファームウェア更新を実行したり、更新の設定をする。

手順① 自動更新の設定や、手動更新、ローカル更新の実行ができます。



■設定内容

設定項目	概要	設定方法	
自動更新	有効/無効	ファームウェア自動更新の有効/無効を設定します。	トグルスイッチ
	確認間隔 (※1)	自動更新をする間隔を、「毎日」「毎週」「毎月」から選択します。「毎週」を選択した場合は曜日を、「毎月」を選択した場合は実施日を設定します。	ラジオボタン プルダウンメニュー
	問合せ時刻 (※1)	自動更新の問合せをする時間帯を設定します。	プルダウンメニュー
	再起動時刻 (※1)	自動更新の問合せにて新しいファームウェアをダウンロード後、再起動する時間帯を設定します。	プルダウンメニュー
手動更新	保守サーバに接続して更新します。[実行]ボタンをクリックすると更新を開始します。	操作方法は本手順の「(a)手動更新」を参照してください。	
ローカル更新	保守PCから直接ファイルを読み込んで更新します。[実行]ボタンをクリックすると更新を開始します。	操作方法は本手順の「(b)ローカル更新」を参照してください。	

(※1)「有効/無効」が「有効」のときのみ設定できます。

おねがい

- ローカル更新をするときは、更新ファイル(zipファイル)のファイル名やファイルの内容を変更しないでください。更新ができなくなる場合があります。
- 手動更新や、自動更新をする場合は、本製品をインターネットに接続可能な状態で行ってください。インターネットに接続できない場合は、更新できません。
- 自動更新の有効/無効を「有効」にした場合、確認間隔、問合せ時刻、再起動時刻は必ず設定してください。
- 自動更新中は、アプリケーションが使用できなくなります。再起動時刻はなるべくアプリケーションを使用しない時間帯、および自動更新の問合せ時刻と異なる時間帯に設定してください。
- 更新後は、Webブラウザにキャッシュされた一時ファイル(閲覧データ)を消去してから、Webブラウザを再起動してください。

(a) 手動更新

7

● 手動更新を実行する。

手順① 「手動更新」の[実行]をクリックします。



2

● 更新を確認・開始する。

手順① ファームウェア手動更新確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。



手順② 新しいファームウェアがあると、下記の画面が表示されるので[はい]をクリックして更新を開始します。更新をやめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



おねがい

- 保守サーバにアクセスできない場合は「保守サーバにアクセスできないため、新しいファームウェアがあるか確認できませんでした。ネットワーク設定、接続などを確認した後、再度ファームウェア更新を実行してください。」のポップアップが表示されます。[OK]をクリックして更新を中止し、ネットワーク設定や接続が正しいか確認してください。
- 新しいファームウェアがない場合は「新しいファームウェアはありませんでした。」のポップアップが表示されるので、[OK]をクリックしてポップアップを閉じてください。

3

●更新を完了する。

手順① ファームウェア更新中→ファームウェア更新成功の画面になるので、[OK]をクリックします。



「<再起動中>」の画面が表示されます。

1～2分待つと、再起動が完了して「ファームウェア更新」の画面に戻ります。



元の画面に戻らず下の表示になるとことがあります。

この場合は、約1分待つってから画面を更新してください。



おねがい

- ファームウェア更新に失敗した場合は更新完了画面にならずにポップアップが表示されます。[OK]をクリックして更新を中止し、更新ファイルが正しいかを確認してください。
- 更新には、数分かかります。
- 更新中にブラウザを終了しないでください。再起動しないと更新が有効になりません。必ず再起動してください。

(b)ローカル更新

1

●更新するファイルを選択する。

手順① [ファイルの選択]をクリックして、更新するファイルを選択します。(※1)

マイクロサーバ2

設定反映

ログアウト

- 基本設定
- アプリケーション設定
- 情報表示
- 保守設定
 - アカウント設定
 - インポート
 - エクスポート
 - ファームウェア更新
 - 初期化
 - 再起動/電源OFF

ファームウェア更新

登録

有効/無効 有効

自動更新

確認間隔

無効 有効

毎日

毎週 日曜日

毎月 1日

問合せ時刻 0時~3時 に実行 ※実行する時刻は、時間範囲内でランダムになります。

再起動時刻 3時~4時 に実行 ※実行する時刻は、時間範囲内でランダムになります。

手動更新

実行

ローカル更新

ファイルの選択 ファイルが選択されていません

実行

クリックする

2

●ローカル更新を実行する。

手順① [実行]をクリックします。

マイクロサーバ2

設定反映

ログアウト

- 基本設定
- アプリケーション設定
- 情報表示
- 保守設定
 - アカウント設定
 - インポート
 - エクスポート
 - ファームウェア更新
 - 初期化
 - 再起動/電源OFF

ファームウェア更新

登録

有効/無効 有効

自動更新

確認間隔

無効 有効

毎週 火曜日

毎月 1日

問合せ時刻 6時~9時 に実行 ※実行する時刻は、時間範囲内でランダムになります。

再起動時刻 10時~11時 に実行 ※実行する時刻は、時間範囲内でランダムになります。

手動更新

実行

ローカル更新

ファイルの選択 ms2_1.0.00.zip

実行

クリックする

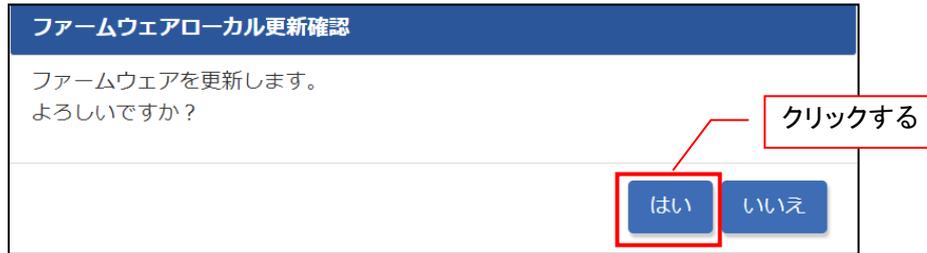
お知らせ

●(※1)ファイルを選択する箇所のボタンや表示文言は、ブラウザにより異なります。ファイルを選択すると、参照先が表示されます。

3

●更新を確認する。

手順① ファームウェアローカル更新確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。更新をやめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



4

●更新を完了する。

手順① ファームウェア更新中→ファームウェア更新成功の画面になるので、[OK]をクリックします。



「<再起動中>」の画面が表示されます。

1～2分待つと、再起動が完了して「ファームウェア更新」の画面に戻ります。



元の画面に戻らず下の表示になるとことがあります。
この場合は、約1分待つってから画面を更新してください。



おねがい

- ファームウェア更新に失敗した場合は更新完了画面にならずにポップアップが表示されます。[OK]をクリックして更新を中止し、更新ファイルが正しいかを確認してください。
- 更新には、数分かかります。更新中にブラウザを終了しないでください。再起動しないと更新が有効になりません。必ず再起動してください。

●初期化

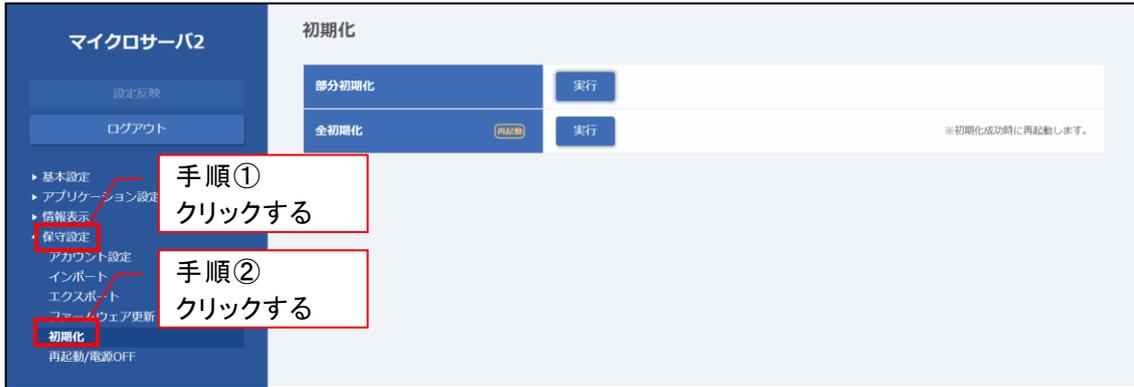
本製品の設定内容を初期化できます。

7

●初期化を選択する。

手順① メインメニューから、[保守設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[初期化]をクリックします。



2

●初期化を実行する。

手順① 部分初期化または全初期化の[実行]をクリックします。



■設定内容

設定項目	概要	設定方法
部分初期化 (※1)	「有線LAN設定」と「アカウント設定」以外すべての設定を初期値に戻します。 [実行]ボタンをクリックすると初期化を開始します。	操作方法は、本手順の「(a)部分初期化操作」を参照してください。
全初期化 (※1)	すべての設定を初期値に戻します。 [実行]ボタンをクリックすると初期化を開始します。	操作方法は、本手順の「(b)全初期化操作」を参照してください。

(※1)部分初期化および全初期化では、アプリケーションは削除されません。

(a) 部分初期化

1 ●設定を部分初期化する。

手順① 部分初期化の[実行]をクリックします。



2 ●設定の初期化を確認する。

手順① 初期化確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
初期化をやめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



3 ●設定の初期化を完了する。

手順① 「初期化が成功しました。」の画面が表示されるので[OK]をクリックします。
[OK]をクリックすると、「初期化」の画面に戻ります。



手順② [設定反映]をクリックします。
設定変更後は、設定反映の操作が必要です(「5章.基本設定 設定反映」を参照)。



(b) 全初期化

1

● 設定を全初期化する。

手順① 全初期化の[実行]をクリックします。



2

● 設定の初期化を確認する。

手順① 初期化確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
初期化をやめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



3

● 設定の初期化を完了する。

手順① 「初期化が成功しました。」の画面が表示されるので[OK]をクリックします。
[OK]をクリックすると、再起動が開始されます。



●再起動/電源OFF

本製品を再起動したり、電源をOFFにしたりできます。

1

●再起動/電源OFFを選択する。

手順① メインメニューから、[保守設定]をクリックします。

手順② サブメニューから、[再起動/電源OFF]をクリックします。



2

●再起動/電源OFFをする。

手順① 再起動または電源OFFの[実行]をクリックします。



■設定内容

設定項目	概要	設定方法
再起動	[再起動]ボタンをクリックすると再起動を実行します。	操作方法は、本手順の「(a)再起動操作」を参照してください。
電源OFF	[電源OFF]ボタンをクリックすると電源OFFを実行します。	操作方法は、本手順の「(b)電源OFF操作」を参照してください。

(a) 再起動

1

●再起動する。

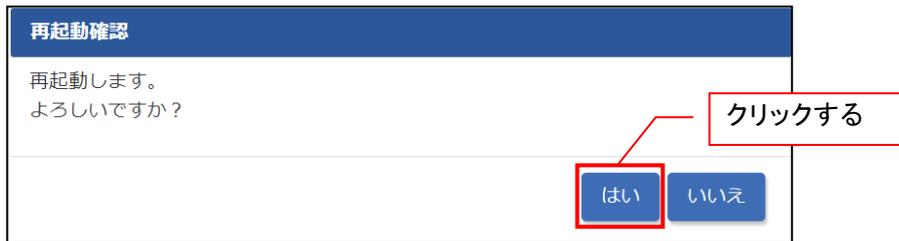
手順① 再起動の[実行]ボタンをクリックします。



2

●再起動を確認する。

手順① 再起動確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
再起動をやめる場合は、[キャンセル]をクリックしてください。



「<再起動中>」の画面が表示されます。



1～2分待つと、再起動が完了して「再起動/電源OFF」の画面に戻ります。
元の画面に戻らず下の表示になることがあります。
この場合は、約1分待つてから画面を更新してください。



(b) 電源OFF

1

●電源をOFFにする。

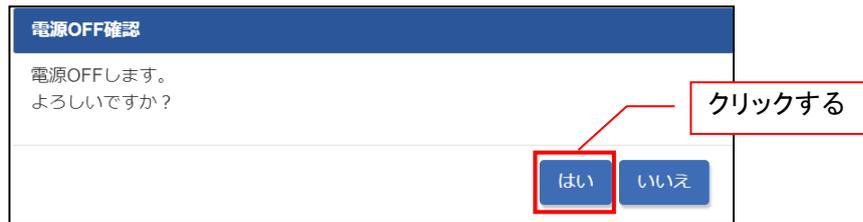
手順① 電源OFFの[実行]ボタンをクリックします。



2

●電源OFFを確認する。

手順① 電源OFF確認の画面が表示されるので、[はい]をクリックします。
電源OFFをやめる場合は、[いいえ]をクリックしてください。



「<電源OFF中>」の画面が表示されます。



電源がOFFになると、下記の画面が表示されます。



おしらせ

- 離れた場所から電源OFFすることができますが、離れた場所から電源ONすることはできませんので、電源OFFを実施する際は注意してください。

付録

●Web画面設定一覧

Web画面の初期値と入力範囲について一覧表を下記に示します。

項目	初期値	入力範囲	設定値記入欄
ネットワーク設定			
有線LAN設定			
IPアドレス	192.168.1.130	半角数字 1.0.0.1～223.255.255.254	
サブネットマスク	255.255.255.0	半角数字 192.0.0.0～255.255.255.252	
デフォルトゲートウェイ	なし	半角数字 1.0.0.1～223.255.255.254 (未入力設定可能)	
DNSサーバアドレス	なし	半角数字 1.0.0.1～223.255.255.254 (未入力設定可能)	
プロキシ設定			
プロキシ有効/無効	無効	有効/無効	
サーバアドレス	なし	半角英数字および記号(“-”、“.”、“/”) 1～128文字	
ポート番号	なし	1～65535	
ユーザー名	なし	半角英数字および記号(“-”、“_”、“.”) 0～32文字 (未入力設定可能)	
パスワード	なし	半角英数字および記号(“-”、“_”、“.”) 0～32文字 (未入力設定可能)	
時刻設定			
自動時刻設定			
時刻自動取得	無効	有効/無効	
NTPサーバアドレス	ntp.nict.jp	半角英数字および記号(“-”、“.”、“/”) 0～128文字	
手動時刻設定			
年月日	現在時刻の年月日	2023年1月1日～2037年12月31日	
時分秒	現在時刻の時分秒	0時0分0秒～23時59分59秒	
ディスプレイ設定			
解像度	VGA(640×480)	VGA(640×480)/SDTV(720×480)/ XGA(1024×768)/HDTV(1280×720)/ FHD(1920×1080)	
画面の向き	通常	通常/90度回転/180度回転/270度回転	
アカウント設定			
ユーザー名	admin	半角英数字および記号(“-”、“_”、“.”) 1～32文字	
パスワード	admin	半角英数字および記号(“-”、“_”、“.”) 1～32文字	
新パスワード	なし	半角英数字および記号(“-”、“_”、“.”) 0(※1)～32文字	
新パスワード(再入力)	なし	半角英数字および記号(“-”、“_”、“.”) 0(※1)～32文字	

(※1)ユーザー名のみ変更する場合に未入力(0文字)にすることで、今のパスワードを継続することができます。

●Web画面エラーメッセージ一覧

Web画面のエラーメッセージの一覧を下記に示します。

エラーメッセージ一覧(1/4)

画面	表示内容	エラー内容と対処
有線LAN 設定画面	IPアドレスが不正です。 正しいアドレスを入力してください。	入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
	サブネットマスクが不正です。 正しいサブネットマスクを入力してください。	
	IPアドレスとデフォルトゲートウェイが同じです。 異なるアドレスを入力してください。	IPアドレスとデフォルトゲートウェイが同じ値の場合に表示されます。 IPアドレスとデフォルトゲートウェイは異なる値を設定してください。
	IPアドレスとDNSサーバアドレスが同じです。 異なるアドレスを入力してください。	IPアドレスとDNSサーバアドレスが同じ値の場合に表示されます。 IPアドレスとDNSサーバアドレスは異なる値を設定してください。
	ネットワークアドレス部がオール0またはオール1です。 IPアドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。 正しいアドレスとサブネットマスクの組み合わせを入力してください。	IPアドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効でない場合に表示されます。 IPアドレスとサブネットマスクの組み合わせが正しい値を設定してください。
	ホストアドレス部がオール0またはオール1です。 IPアドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。 正しいアドレスとサブネットマスクの組み合わせを入力してください。	

エラーメッセージ一覧(2/4)

画面	表示内容	エラー内容と対処
有線LAN 設定画面	デフォルトゲートウェイが不正です。 正しいアドレスを入力してください。	入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
	ホストアドレス部がオール0またはオール1です。 デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。 正しいアドレスとサブネットマスクの組み合わせを入力してください。	デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの組み合わせが有効でない場合に表示されます。 デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの組み合わせが正しい値を設定してください。
	デフォルトゲートウェイのネットワークアドレスがIPアドレスと異なっています。 IPアドレスと同じネットワークアドレスのデフォルトゲートウェイを入力してください。	デフォルトゲートウェイのネットワークアドレスがIPアドレスと異なる場合に表示されます。 IPアドレスと同じネットワークアドレスのデフォルトゲートウェイを正しい値で設定してください。
	DNSサーバアドレスが不正です。 正しいアドレスを入力してください。	入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
プロキシ 設定画面	サーバアドレスが不正です。 正しいサーバアドレスを入力してください。	未入力または、入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
	ポート番号が不正です。 正しいポート番号を入力してください。	
	ユーザー名が不正です。 正しいユーザー名を入力してください。	入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
	パスワードが不正です。 正しいパスワードを入力してください。	
時刻設定画面	NTPサーバアドレスが不正です。 正しいNTPサーバアドレスを入力してください。	
	年月日が不正です。 正しい[○]を入力してください。 ※○には「年」、「月」、「日」、「年月日」が入ります。	
	時分秒が不正です。 正しい[○]を入力してください。 ※○には「時」、「分」、「秒」が入ります。	

エラーメッセージ一覧(3/4)

画面	表示内容	エラー内容と対処
アカウント設定画面	パスワードが初期値のままです。 パスワードを変更してください。	パスワードが初期値の状態です。任意の画面に遷移しようとした場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照してパスワードを変更してください。
	パスワードが一致していません。 正しいパスワードを入力してください。	現在のパスワードと違うパスワードを入力した場合に表示されます。正しいパスワードを入力してください。
	アカウント設定が不正です。 正しいユーザー名を入力してください。	未入力または、入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
	アカウント設定が不正です。 正しいパスワードを入力してください。	入力値に間違いがある場合に表示されます。 ●本書Web画面設定値一覧の設定範囲を参照して正確に入力してください。
	アカウント設定が不正です。 正しい新パスワードを入力してください。	
新パスワードと新パスワード(再入力)が一致していません。 同じパスワードを入力してください。	入力した新パスワードと同じ値を入力してください。	
インポート	ファイルを参照できません。 正しい参照先を選択してください。	ファイルを参照できない場合に表示されます。 正しい参照先を選択してください。
	インポートが失敗しました。 ファイルが正しいか確認した後、再度インポートを行ってください。	不正なファイルをインポートしようとした場合に表示されます。正しいファイルを選択してください。
エクスポート	エクスポートが失敗しました。	エクスポートが失敗した場合に表示されます。 再起動後、再度エクスポートを行ってください。
ファームウェア更新画面	保守サーバにアクセスできないため、新しいファームウェアがあるか確認できませんでした。 ネットワーク設定、接続などを確認した後、再度ファームウェア更新を実行してください。	保守サーバにアクセスできなかった場合に表示されます。 本製品が正しくインターネットに接続されているか確認してください。
	新しいファームウェアはありませんでした。	動作中のバージョンより新しいバージョンのファームウェアが無かった場合に表示されます。 最新のファームウェア状態なので、ファームウェア更新をする必要はありません。
	ファイルを参照できません。 正しい参照先を選択してください。	ローカル更新するためのファイルが正しく参照できていない場合に表示されます。 正しい参照先を選択してください。
	ファームウェア更新に失敗しました。 再起動後、ネットワーク設定、接続、更新ファイルが正しいかなどを確認した後、再度ファームウェア更新を行ってください。	手動更新またはローカル更新に失敗した場合に表示されます。 再起動後、ネットワーク設定、接続、更新ファイルが正しいかなどを確認した後、再度ファームウェア更新を行ってください。

エラーメッセージ一覧(4/4)

画面	表示内容	エラー内容と対処
アプリケーションインストール画面	ファイルを参照できません。 正しい参照先を選択してください。	ファイルを参照できない場合に表示されます。 正しい参照先を選択してください。
	アプリケーションのインストールに失敗しました。 アプリケーションファイルが正しいかなどを確認した後、再度アプリケーションのインストールを行ってください。	インストールファイル以外を参照した際に表示されます。 アプリケーションファイルが正しいかなどを確認した後、再度アプリケーションのインストールを行ってください。
	アプリケーションのインストールに失敗しました。 既に別のアプリケーションがインストールされています。 アンインストールを行うか、アプリケーションファイルが正しいかなどを確認した後、再度アプリケーションのインストールを行ってください。	インストールされているアプリケーションと異なるインストールファイルをインストールした際に表示されます。 アンインストールを行うか、アプリケーションファイルが正しいかなどを確認した後、再度アプリケーションのインストールを行ってください。
アプリケーションアンインストール画面	アプリケーションのアンインストールが失敗しました。 再度アプリケーションのアンインストールを行ってください。 それでもアンインストールできない場合には、リカバリ機能を実施してください。	アンインストールファイルがない場合などに表示されます。 アプリケーションがインストールされているか確認してください。 アプリケーションがインストールされている場合は再度アプリケーションのアンインストールを行ってください。 それでもアンインストールできない場合には、リカバリを実施してください。
初期化画面	初期化が失敗しました。	初期化が失敗した場合に表示されます。 再起動後、再度初期化を実行してください。
設定反映画面	設定反映に失敗しました。 設定をやり直してから、再度、設定反映してください。	設定反映に失敗した場合に表示されます。 設定をやり直してから、再度、設定反映してください。

●トラブルシューティング

本システムに障害が発生した場合の想定原因と処置を下表に示します。

項番	障害内容	想定原因	処置
1	本製品が起動しない。	電源が接続されていない可能性があります。	PoE給電ハブの電源が入っていることを確認して、本製品と接続するLANケーブル(8線)が正常であることを確認してください。 オプションACアダプタをお使いの場合は、オプションACアダプタを本製品に接続してください。
		メモリ異常の可能性があります。	本製品のリカバリ機能で復旧可能か確認してください。 参照項目 「付録 ●MODE SWITCHの機能詳細」
2	本製品のHDMIに接続のディスプレイ機器が表示されない。	HDMIケーブルが接続されていない可能性があります。	ディスプレイ機器に接続のHDMIケーブルが正常であることを確認してください。
		温度異常による誤動作の可能性があります。	本製品の電源OFF/ONは、5分程度時間を空けて行ってください。
3	本製品のHDMIに接続のディスプレイ機器に「Out of Range」(一例)が表示される。	本製品のディスプレイ設定を間違えている可能性があります。	お使いディスプレイ機器が対応する解像度をご確認のうえ、本製品の解像度を設定してください。 参照項目 「5章.基本設定 ●ディスプレイ設定」
		各機器に通電し起動する際、本製品が起動する前に、ディスプレイ機器がスリープモードの場合、本製品からの映像信号を正しく受信できず、障害が発生する可能性があります。	本製品とディスプレイ機器の電源システムを共通にして、停電時/復電時などで起動のときに同じコンセント等に接続されるようにしてください。
4	本製品のHDMIに接続のディスプレイ機器にGoogleの検索画面が表示されることがある。	アプリケーションの起動中画面の読み込みに失敗した可能性があります。	アプリケーションが起動するまで、しばらくお待ちください。 周囲温度が高いことにより発生しているため、何度も発生する場合は、設置場所を変更してください。
5	本製品のHDMIに接続のディスプレイ機器が表示されるが、タッチできない。	USBケーブルが接続されていない可能性があります。	ディスプレイ機器に接続のUSBケーブルが正常であることを確認してください。
		USBハブがセルフパワータイプでない可能性があります。	USBハブはセルフパワータイプをお使いください。「NYC-MICROSV2-LAN 接続確認物品一覧」をご参照ください。本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
6	二次元コードリーダーが起動しない、または使用できない。	USBケーブルが接続されていない可能性があります。	二次元コードリーダーに接続のUSBケーブルが正常であることを確認してください。
		USBハブを使用していない、またはUSBハブがセルフパワータイプでない可能性があります。	二次元コードリーダーはUSBハブに接続してお使いください。 USBハブはセルフパワータイプをお使いください。「NYC-MICROSV2-LAN 接続確認物品一覧」をご参照ください。本製品のサポートサイトからご確認いただけます。

項番	障害内容	想定原因	処置
7	本製品のWeb画面が正しく表示されない。	本製品が起動完了していない可能性があります。	本製品の起動が完了し、正常起動（POW点灯、RUN点灯）まで20秒程度かかります。 起動中（POW点灯、RUN遅点滅）を待ってから、再度Web画面の表示をしてください。 参照項目 「1章. ご利用の前に ●ランプ表示説明」
		IPアドレスが間違っている、または無効なIPアドレスを設定してしまっている。	正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスがわからなくなった場合、または無効なIPアドレスを設定してしまっている場合は、初期IPアドレスで本製品を起動し、設定を確認してください。 参照項目 「付録 ●MODE SWITCHの機能詳細」
		IPアドレスの後にポート番号の指定をしていない。	IPアドレスの後ろにポート番号「:58000」を入力してください。 参照項目 「5章.基本設定 ●ログイン方法」
8	インストール（アップデート）確認画面が表示されない。	PCが32bit版である可能性があります。	PCを64bit版に変更してください。 参照項目 「1章. ご利用の前に」の「・使用するパソコンの条件」
9	インストール（アップデート）完了画面が表示されない。	ネットワーク接続に問題がある。	ネットワーク接続を確認した後、再度インストール操作を行ってください。
		リモート接続しているためインストールに時間がかかっている。	リモート接続の場合、インストール完了まで10分以上かかる場合があります。 しばらく様子を見てください。
10	Web画面にWindows10のブラウザを使用してアクセス後、テキスト欄に1文字目が正常に入力できない。	ブラウザ側（パソコン側）に問題があります。	Windows Update及びブラウザの更新を行ってください。
11	NYC-STI-GWから発信ができない。	NYC-STI-GWのMODE SWITCHが正しく設定されていない可能性があります。	NYC-STI-GWのMODE SWITCHの設定方法は「NYC-STI-GW 工事説明書」を参照してください。
12	IPカメラドアホン(IPCAMDH3)から発信ができない。	IPカメラドアホン(IPCAMDH3)が正しく設定されていない可能性があります。	IPカメラドアホン(IPCAMDH3)の設定方法については「IPカメラドアホン(IPCAMDH3) 工事説明書」を参照してください。
		本製品がUSB-RS232Cシリアル変換ケーブルを使用可能にする準備ができていない可能性があります。（ドライバのインストールに時間がかかっているため）	ドライバのインストールが完了するまで、数分程度お待ちください。
13	接点制御ができない。	接点制御をするための二次元コードでない可能性があります。（呼出番号を含む二次元コードでは接点制御をすることができません）	二次元コードの発行をする際、二次元コードの登録内容を「呼出番号の登録なし」「制御機器の登録あり」にして二次元コードを発行してください。 詳細は、「二次元コード発行システム 取扱説明書」を参照してください。

項番	障害内容	想定原因	処置
14	二次元コードの照合に失敗する。	本製品の時刻が正しく設定されていない可能性があります。	本製品の時刻を正しく設定してください。 参照項目 「5章.基本設定 ●時刻設定」
		受付アプリケーションの設定(※1)が正しく設定されていない可能性があります。	(※1)受付アプリケーションの設定であるNYC Reception情報のドメイン、ポート番号、ビルIDが正しい設定になっているか、ご確認ください。 設定する内容が不明の場合は、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へお問い合わせください。
		本製品がインターネット接続できていない可能性があります。	本製品の有線LAN設定を確認してください。 (サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスをIP電話インタフェース(IPCOI)のLANインタフェースの設定と同一にする。) (例) IP電話インタフェースのLAN側IPアドレスが 192.168.1.115の場合 IPアドレス: 192.168.1.130 サブネットマスク: 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.115 DNSサーバアドレス: 192.168.1.115 本製品がインターネットに接続できているかを確認するには、ファームウェアの手動更新で確認することができます。 ・インターネット接続ができている場合は、「新しいファームウェアはありませんでした。」 または、 「新しいファームウェアがありました。ファームウェアを更新しますか?」とポップアップが表示されます。 ・インターネット接続ができていない場合は、「保守サーバにアクセスできないため、新しいファームウェアがあるか確認できませんでした。 ネットワーク設定、接続などを確認した後、再度ファームウェア更新を実行してください。」と表示されます。
15	インターネット接続ができない。	本製品のIPアドレスを間違えている可能性があります。	同上
		IP電話インタフェース(IPCOI)にインターネット設定がされていないなどの設定不備の可能性があります。	「IP電話インタフェース(IPCOI) 工事説明書」を参照してください。

●MODE SWITCHの機能詳細

MODE SWITCHを使用して、下表の機能を実行することができます。

<MODE SWITCHの機能詳細>

機能名称	説明	MODE SWITCH番号	設定
アプリケーション側初期化起動	アプリケーションのみ初期化して起動します。(※1)	1	ON
IPデフォルト設定	初期のIPアドレスに一時的に切り替えます。	2	ON
リカバリ機能 (工場出荷時)	インストール済のアプリケーションを削除し、ファームウェアを製品出荷時のファームウェアバージョンに戻します。	1、2、4	1、2 ON→OFF(※2) 4 ON
リカバリ機能 (アプリケーションのみ削除する)	インストール済のアプリケーションを削除し、ファームウェアは戻されずにリカバリ前のバージョンを継続します。	1、2	ON→OFF(※2)

<アプリケーション側初期化起動手順>

アプリケーション側初期化起動は、下記の手順で行ってください。

(1)
本製品の電源投入前に、MODE SWITCHの1をONにする。



(2)
本製品の電源を投入する。(※3)

<IPデフォルト設定手順>

IPデフォルト設定は、下記の手順で行います。

(1)
本製品の電源投入前に、MODE SWITCHの2をONにする。



(2)
本製品の電源を投入する。(※3)

IPデフォルト設定の設定内容は下記となります。

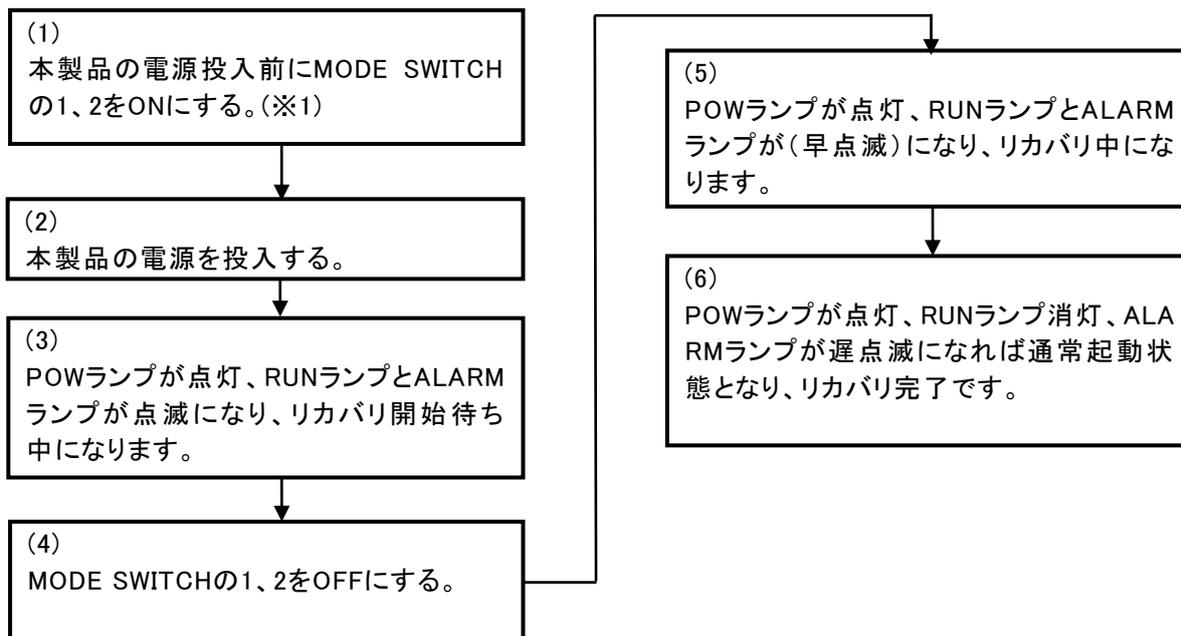
No.	設定項目	設定値	備考
1	有線LAN設定	IPアドレス	192.168.1.130
2		サブネットマスク	255.255.255.0
3		デフォルトゲートウェイ	(空白)
4	アカウント設定	ユーザー名	admin
5		パスワード	1111

おしらせ

- (※1)インストールするアプリケーションによって使用可否があります。
- (※2)「ON→OFF」はMODE SWITCHをあらかじめONにした状態で本製品を起動し、リカバリ開始待ち中のLEDを確認して、MODE SWITCHをOFFにします。
- (※3)誤ってMODE SWITCH1、2がON状態で起動すると、アプリケーションが削除されますのでご注意ください。
- 「IPデフォルト設定」はIPアドレスが分からないとき等、一時的に初期のIPアドレスに戻すときに使用します。
- 「IPデフォルト設定」はMODE SWITCHをOFFした後の再起動時は反映されません。
- リカバリ機能を実施するとアプリケーションが削除されますので、実施には十分ご注意ください。また、アプリケーションを再インストール後の使用時に再度ライセンス入力が必要です。

<リカバリ機能手順>

リカバリ機能は、下記の手順で行ってください。



※(1)～(6)完了までには数分かかります。

【リカバリ機能説明】

リカバリ機能は、ファイルシステムが壊れてしまった場合など、工場出荷時と同じ状態にするための機能です。

リカバリ機能実施後は、本製品に保存されているすべての設定値が工場出荷時の値になります。

また、リカバリ機能実施によりインストールされているアプリケーションが削除され、アプリケーション未インストールの状態となります。(本機能は十分注意のうえで実施してください。)

再度アプリケーションをご利用になる場合はアプリケーションのインストールを実施してください。

アプリケーションインストール後の使用時には再度ライセンスの入力が必要となります。

⚠ 注意

- リカバリ中は電源をOFFにしないでください。リカバリ失敗や故障の原因となります。

おねがい

- リカバリが成功しない場合は、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へお問い合わせください。

おしらせ

- (※1) ファームウェアを製品出荷時の状態にする場合はMODE SWITCHの4もONにしてください。

●お手入れ(清掃の方法)

本製品を設置した後は、定期的に清掃することをお勧めします。
本書の「ご利用上の注意 設置後の扱いについて」をご確認のうえ、清掃を行ってください。

本製品以外の接続機器の取り扱い方法や清掃の方法などにつきましては、各機器の説明書に記載の内容をご確認のうえで、取り扱いや清掃を行ってください。

特に、タッチパネルディスプレイ、二次元コードリーダ、IPカメラドアホンなどの各入力装置につきましては、よごれが付着すると正常動作となくなる可能性がありますので、定期的な清掃をお願いします。

なお、二次元コードリーダの読み取り部等においては樹脂を使用しており、消毒用アルコールによって変質したり、白濁する可能性があります。よごれを拭き取る用途で消毒用アルコールを使用しないでください。
他の機器においても消毒用アルコールを使用する場合は、使用可否を必ずご確認のうえで使用してください。

●機器が故障した場合

機器が故障した場合には、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へお問い合わせください。

“はじめにお読みください”に記載してある保証書を修理の際にご提示ください。

ご購入から1年を過ぎた場合、有料修理となります。

保証期間内であっても有料修理となる場合がございますのでご注意ください。

詳しくは、本製品に付属の“はじめにお読みください”の最終ページに記載の無料修理規定をご確認ください。

無料修理規定は、保証書に記載されています。

●本製品の廃棄について

本製品は産業廃棄物として廃棄してください。

本製品の内部にはコイン形リチウム電池を内蔵しています。

各自治体の指示（地域の条例など）に従って廃棄してください。

本製品のFlashメモリ（記憶媒体）にはお客様の重要なデータが記録されています。従って本製品を廃棄するときにFlashメモリ内に記録された重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任で消去したうえで廃棄してください。（データの消去方法は、本書の「8章. 保守設定 ●初期化」をご参照ください。）